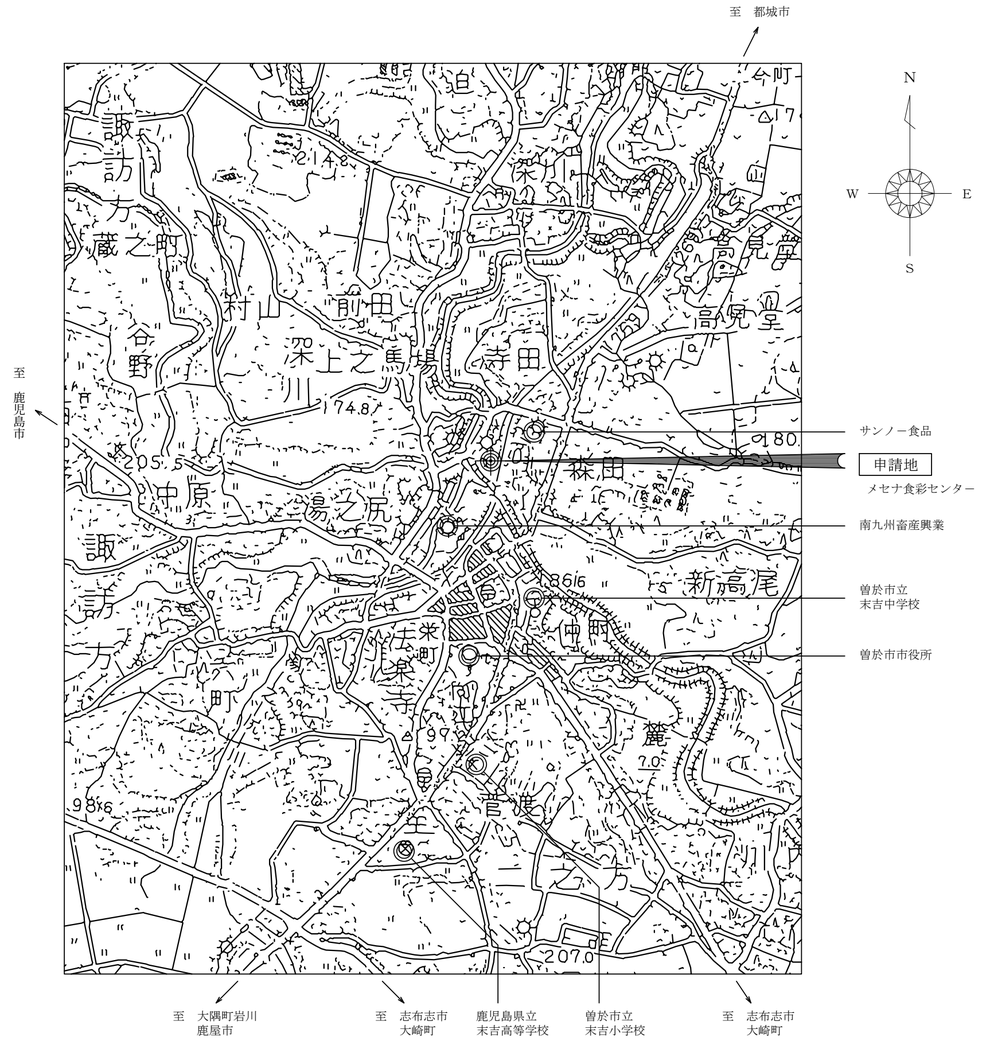
曽建24-38
曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事

図面リスト					
冷凍冷熱設備工事					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
Ｆ－０１	表紙・図面リスト・附近見取図	NO SCALE	Ｍ－０１	機械設備工事特記仕様書 －０１	NO SCALE
Ｆ－０２	冷凍冷熱設備工事特記仕様書 －０１	NO SCALE	Ｍ－０２	機械設備工事特記仕様書 －０２	NO SCALE
Ｆ－０３	冷凍冷熱設備工事特記仕様書 －０２	NO SCALE	Ｍ－０３	機械設備工事特記仕様書 －０３	NO SCALE
Ｆ－０４	冷凍冷熱設備工事特記仕様書 －０３	NO SCALE	Ｍ－０４	機械設備工事建物配置図	１／500
Ｆ－０５	冷凍冷熱設備工事特記仕様書 －０４	NO SCALE	Ｍ－０５	機械設備工事平面図	１／100
Ｆ－０６	冷凍冷熱設備工事特記仕様書 －０５	NO SCALE			
Ｆ－０７	冷凍冷熱設備工事機器表	NO SCALE			
Ｆ－０８	冷凍冷熱設備工事系統図	NO SCALE			
Ｆ－０９	冷凍冷熱設備工事平面図	１／100			
Ｆ－１０	冷凍冷熱設備工事電気系統図	NO SCALE			
Ｆ－１１	冷凍冷熱設備工事電気動力設備図	１／100			
Ｆ－１２	冷凍冷熱設備工事電気電灯設備図	１／100			
Ｆ－１３	冷凍冷熱設備工事断熱パネル平面図	１／75			
Ｆ－１４	冷凍冷熱設備工事断熱パネル天井伏図	１／75			
Ｆ－１５	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－０１	１／75			
Ｆ－１６	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－０２	１／75			
Ｆ－１７	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－０３	１／75			
Ｆ－１８	冷凍冷熱設備工事断熱パネル断面図－０１	１／10			
Ｆ－１９	冷凍冷熱設備工事断熱パネル断面図－０１	１／10			



附近見取図 NO SCALE

一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049 村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	表紙・図面リスト・附近見取図	縮尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	Ｆ－０１

１．一般事項

工 事 名 称　：　曽於市ゆず果汁副産物保管庫建設工事

施 工 場 所　：　鹿児島県曽於市末吉町二之方 360－1、　371－1、371－3

建 物 概 要　：　鉄骨造平家建て　　折板葺き屋根

施 設 規 模　：　建築面積：　694.95 ㎡2　　延床面積：　643.70 ㎡2

２．特記事項

2-1　優 先 順 位　　設計図書の優先順位は次の通りとする。

1　現場説明事項，質疑応答事項

2　本仕様書納入予定図

3　SHASE-S 010-2007　　空気調和・衛生設備工事標準仕様書

2-2　記載のないもの　　設計図書に記載のないもの、及び記載されていても工事のおさまり等について不都合な箇所が生じた場合は係員と協議の上、その指示による。

2-3　発 生 材　　発生材は整理の上、係員の指示により処置する。

2-4　諸 手 続　　本工事実施上、必要なる諸官庁、その他への諸手続に必要な書類作成は請負者が実施する。

2-5　材 料 等　　本工事に使用する資材並びにメーカーについては、本工事着工前に係員と協議し、メーカー決定次第、製作図、納入予定図を提出し指示を受けた後製作する。

2-6　施 工 図　　必要事項に応じて工事用施工図を作成し、工事に先立ち係員の指示を受ける。

2-7　竣 工 図　　本工事完了後、次の書類を提出する。

1　竣工図

2　主要機器納品図及び、関連図面

3　取扱説明書

4　試験成績書、測定結果書

2-8　検収引き渡し　　試運転、保証範囲の確認を以て検収引き渡しとすること。

2-9　保 証 範 囲　　本仕様書の設計仕様を満足すること。

2-10　保 証 期 間　　検収後、満１ヶ年以内に生じた請負者による不具合は無償にて修理、交換する。

３．設計条件

3-1 外気条件

	温度［°CDB］	湿度［%RH］
夏　季	35	60
冬　季	-	-

3-2 条件一覧

階	室　名	室の大きさ			室内条件			入庫負荷							備　考
		床面積 [㎡]	有効高 [m]	有効容積 [m3]	公称ﾄﾝ [ton]	温 度 [℃]	湿 度 [%]	入庫品目	比熱 [KJ/kgok]	蒸気潜熱 [KJ/kg]	1日の入庫量 [kg/日]	入庫時品温 [℃]	出庫時品温 [℃]	冷却時間 [hr]	
1	ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	166.1	4.5	7.48	269	15	成行	チルド品	3.82	-	-	15.0	15.0	-	
2	前室	23.5	4.0	94.0	34	-5	成行	チルド品	3.82	-	-	15.0	15.0	-	
3	凍結保管庫（１）	280.3	6.0	1,682	605	-25	成行	チルド品	前 3.82 後 1.98	297.43	8,640	15.0	-18.0	72	
4	凍結保管庫（２）	185.0	6.0	1,108	399	-25	成行	チルド品	前 3.82 後 1.98	297.43	4,320	15.0	-18.0	72	

注1)　庫内温度保証は扉締め切り時とします。デフロスト時は温度成行とします。

注2)　現場事務所に取付のリモコンにて制御を行います。異常警報・温度表示も現場事務所取付の遠方監視盤にて行います。

注3)　異常警報は、温度異常及び停電を出力できる様にします。その他、詳細データは、現場表示及び記録します。（パソコンと連動の事）

3-3　ユーティリティー

用　途		容　量
電 源	動　力	3\U+03C6　200V　60Hz　115.0kW
電 源	充　電	3\U+03C6　200V　60Hz　3.8kW
電 源	照　明	3\U+03C6　200V　60Hz　4.9kW

3-4　その他

（1）冷媒は代替フロンとします。

（2）イニシャル、ランニングコストの安価なシステムとします。

一級建築士事務所
村 岡 建 築 設 計 事 務 所
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　　TEL.FAX　0986-76-3489
管理建築士登録番号　NO. 145049　　村 岡 昭 宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	冷凍冷熱設備工事特記仕様書　－０１	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	Ｆ－０２

4．工事仕様書

4-1　機器設備

(1)　保　　温

：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，50t，75t）　＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・アルミガラスクロス・金網
：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，50t，75t）　＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・アルミガラスクロス・金網
：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，50t，75t）　＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・アルミガラスクロス・金網
：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，50t，75t）　＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・アルミガラスクロス・金網

（その他）：（メーカー標準仕様とする。）

(2)　塗　　装

（機器類）：（メーカー標準色とする。）

4-2　配管設備

(1)　配管材料

◯ 適用項目

適　用	種　　別	配　　管　　材		
◯	冷　　媒	銅及び銅合金継目無管	C1220T	JIS Ｈ 3300
		圧力配管用炭素鋼鋼管	STPG370-S,Sch-40	JIS Ｇ 3454
		被覆銅管　(10t・20t)	C1220T(管材), A9511(被覆材)	JIS Ｈ 3300
◯	デフロスト水	配管用炭素鋼管	SGP（白）	JIS Ｇ 3452
	冷　　水	〃	SGP（白）	〃
	温　　水	〃	SGP（白・黒）	〃
	冷 温 水	〃	SGP（白・黒）	〃
	蒸　　気	〃	SGP（黒）	〃
	蒸気ドレン	配管用ステンレス鋼管　(Sch-10s,20s,40s)	SUS304TP	JIS Ｇ 3459
		圧力配管用炭素鋼鋼管	STPG370-S,Sch-40	JIS Ｇ 3454
	ブライン	配管用炭素鋼管	SGP（黒）	JIS Ｇ 3452
	給　　水	〃	SGP（白）	〃
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VA,VB,VD	JWWAK116
◯	ドレン排水	配管用炭素鋼管	SGP（白）	JIS Ｇ 3452
◯		硬質塩化ビニル管	VP,VU	JIS Ｋ 6741
		耐熱性硬質塩化ビニル管	HT	JIS Ｋ 6776
		耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP	JIS Ｋ 6742

(注1) 配管用炭素鋼鋼管SGP（白）・(黒)の125A以上は耐溝食電縫鋼管仕様とする。

(2)　弁　　類

◯ 適用項目

適　用	種　　別	サ イ ズ	仕　　様
◯	仕　切　弁	50A以下	5k・10k 相当品　青銅ネジ込
		65A以上	5k・10k 相当品　鋳鉄フランジ形
	玉　形　弁	50A以下	10k相当品　青銅ネジ込
		65A以上	10k相当品　鋳鉄フランジ形
	バタフライ弁	50A以下	―――――
		65A以上	10k相当品　ウエハー
◯	Ｙ型ストレーナー	50A以下	10k相当品　青銅ネジ込
		65A以上	10k相当品　鋳鉄フランジ形
◯	逆　止　弁	50A以下	10k相当品　青銅ネジ込
		65A以上	10k相当品　鋳鉄フランジ形
	ダクタイル	50A以下	10k相当品　ネジ込
	マレーブル	65A以上	10k相当品　フランジ形
◯	冷媒用止め弁	25A以下	パックレス弁
◯		32A以上	止め弁
◯	冷媒用ストレーナー		100メッシュ以上

(3)　継　　手

◯ 適用項目

適　用	種　　別		サ イ ズ	仕　　様
◯	継　　手	防振継手	デフロスト水	（合成ゴム）・SUSベローズ・テフロン
			冷　　水	合成ゴム・SUSベローズ・テフロン
			温　　水	SUSベローズ
			ブライン	合成ゴム・SUSベローズ・テフロン
		可とう継手	冷 却 水	合成ゴム・SUSベローズ・テフロン
			冷　　水	合成ゴム・SUSベローズ・テフロン
			温　　水	SUSベローズ
			ブライン	合成ゴム・SUSベローズ・テフロン
		伸縮継手	温　　水	スリーブ型・ベローズ型
			蒸　　気	スリーブ型・ベローズ型

(4)　配管接合

◯ 適用項目

適　用	種　　別	接　　合　　法
◯	銅　　管	ロー付、又はフレアー接続
◯	鋼　　管	50A以下 ネジ込（一部フランジ）
		65A以上 フランジ、又は溶接（機器接続部は一部ネジ込）
◯	塩 ビ 管	差し込み接着、又はバルブソケット

(5)　保　　温

冷媒・ブライン　（32A ～ 65A）

屋外露出部　：　ポリスチレンフォーム　（10t，20t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ 亜鉛鉄板・カラー鋼板・ステンレス
屋内露出部　：　ポリスチレンフォーム　（10t，20t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ アルミガラスクロス・ビニールテープ
屋内隠蔽部　：　ポリスチレンフォーム　（10t，20t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ 金網

冷媒(中，低温用及び冷暖房用エアコン)　(9.5\U+03C6～25.4\U+03C6)

（屋外露出部）：（耐熱ポリスチレンフォーム）　（10t,20t,40t）　＋（防湿層）亜鉛鉄板・カラー鋼板・（ステンレス）
（屋内露出部）：（耐熱ポリスチレンフォーム）　（10t,20t,40t）　＋（防湿層）亜鉛鉄板・カラー鋼板・ステンレス（ビニールテープ）
屋内隠蔽部　：　耐熱ポリスチレンフォーム　（10t,20t）　＋ 防湿層・アルミガラスクロス・ビニールテープ・金網

(注1) 10t　全ての液管，冷蔵庫及び冷暖房系吸入管、40t　冷凍庫系吸入管
(注2) 天井裏で著しく高温・多湿・無風の場所の吸入管は、冷蔵庫及び冷暖房系 40t，冷凍庫系 50t とすること。
(注3) 冷蔵庫庫内部分の液管は防熱なし、吸入管は　－ t

冷水・冷温水　（　　A～　　A）

屋外露出部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，30t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ 亜鉛鉄板・カラー鋼板・ステンレス
屋内露出部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，30t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ アルミガラスクロス・ビニールテープ
屋内隠蔽部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（25t，30t，40t，50t，65t，75t）　＋ 防湿層 ＋ 金網

温水・蒸気　（　　A～　　A）

屋外露出部　：　グラスウール・ロックウール・撥水性パーライト　（20t，30t，40t）　＋ 亜鉛鉄板・カラー鋼板・ステンレス
屋内露出部　：　グラスウール・ロックウール・撥水性パーライト　（20t，30t，40t）　＋ アルミガラスクロス・綿布・ビニールテープ
屋内隠蔽部　：　グラスウール・ロックウール・撥水性パーライト　（20t，30t，40t）　＋ 金網

給水・デフロスト水　（　25A ～　50A）

屋外露出部　：　グラスウール・（ポリスチレンフォーム）　（20t,（30t,）40t）　＋ 亜鉛鉄板・カラー鋼板・（ステンレス・）保温なし
屋内露出部　：　グラスウール・（ポリスチレンフォーム）　（20t,（30t,）40t）　＋ アルミガラスクロス・（ビニールテープ・）保温なし
屋内隠蔽部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　（20t，30t，40t）　＋ 金網・保温なし

一級建築士事務所
村 岡 建 築 設 計 事 務 所
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX　0986-76-3489
管理建築士登録番号　NO. 145049　村 岡 昭 宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	冷凍冷熱設備工事特記仕様書　－０２	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	F－０３

ドレン　　(25A～　)

屋外露出部　　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(20t , 25t , 30t)　＋ 防湿層・亜鉛鉄板・カラー鋼板・ステンレス・保温なし

屋内露出部　　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(20t , 25t , 30t)　＋ 防湿層・アルミガラスクロス・ビニールテープ・保温なし

屋内隠蔽部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(20t , 25t , 30t)　＋ 防湿層・金網・保温なし

(注1) エアーカット弁以降２次側は保温なし。

バルブ

屋外露出部　：　ポリスチレンフォーム・ウレタン注入発泡　　(30t , 40t , 50t)　＋ カラー鋼板・ステンレス・ビニールパック

屋内露出部　：　ポリスチレンフォーム・ウレタン注入発泡　　(30t , 40t , 50t)　＋ カラー鋼板・ステンレス・ビニールパック

屋内隠蔽部　：　ポリスチレンフォーム・ウレタン注入発泡　　(30t , 40t , 50t)　＋ カラー鋼板・ステンレス・ビニールパック

尚、温水・蒸気・冷却水系統のバルブは行わない。

(6)　塗　　装

保温無部

屋外露出部(配管・金物等)　：　調合ペイント2回・塗装なし

屋内露出部(配管・金物等)　：　調合ペイント2回・塗装なし

屋内隠蔽部(配管・金物等)　：　調合ペイント2回・塗装なし

4-3　ダクト設備

(1)　器　　具　　吹出口　　吸込口

吹出口・吸込口　：　鋼　板　製・ステンレス製・アルミニウム製

ダンパー類　　：　鋼　板　製・ステンレス製

(2)　ダ ク ト

亜鉛鉄板・塩ビ鋼板

低　圧　ダ　ク　ト	高 圧 1,2 ダ ク ト	
長方形ダクトの長辺 [㎜]	長方形ダクトの長辺 [㎜]	板　厚 [㎜]
450以下	―――	0.5
451～ 750	―――	0.6
751～1500	450以下	0.8
1501～2200	451～1200	1.0
2201以上	1201～2200	1.2

亜鉛鉄板スパイラル

低　圧　ダ　ク　ト	高 圧 1,2 ダ ク ト	
ダクトの内径寸法 [㎜\U+0306]	ダクトの内径寸法 [㎜\U+0306]	板厚[㎜]
		直　管 / 継　手
450以下	200以下	0.5 / 0.6
460～710	210～560	0.6 / 0.8

ステンレス鋼板

低　圧　ダ　ク　ト	高 圧 1,2 ダ ク ト	
長方形ダクトの長辺 [㎜]	長方形ダクトの長辺 [㎜]	板　厚 [㎜]
750以下	―――	0.5
751～1500	―――	0.6
1501～2200	450以下	0.8
2201以上	451～1200	1.0
	1201以上	1.2

ステンレススパイラル

低　圧　ダ　ク　ト	高 圧 1,2 ダ ク ト	
ダクトの内径寸法 [㎜\U+0306]	ダクトの内径寸法 [㎜\U+0306]	板厚[㎜]
		直　管 / 継　手
560以下	250以下	0.5 / 0.8 ,1.5
570～800	260～560	0.6 / 0.8 ,1.5
810～1000	570～800	0.8 / 0.8 ,1.5

硬質塩化ビニル

低 圧・高 圧 1 ダ ク ト	高 圧 2 ダ ク ト		
1000(Pa)以下	1001(Pa)～1500(Pa)	1501(Pa)～2000(Pa)	
長方形ダクトの長辺 [㎜]	長方形ダクトの長辺 [㎜]	長方形ダクトの長辺 [㎜]	板　厚 [㎜]
500以下	500以下	―――	3
501～1000	―――	500以下	4
1001～2000	501～2000	501～2000	5
2001以上	2001以上	2001以上	6

換気フード

換気フードの長辺 [㎜]	板　厚	
	ステンレス鋼板 [㎜]	亜鉛鉄板 [㎜]
450以下	0.5	0.6
451～1200	0.6	0.8
1201～1800	0.8	1.0
1801以上	1.0	1.2

・NOTE：ダクト内圧による種類と圧力範囲

ダクト内圧による種　類	常用圧力〔Pa〕		制限圧力〔Pa〕	
	正　圧	負　圧	正　圧	負　圧
低圧ダクト	＋500以下	－500以内	＋1000	－750
高圧１ダクト	＋501～＋1000	－501～－1000	＋1500	－1500
高圧２ダクト	＋1001～＋2500	－1001～－2000	＋3000	－2500

(注1)　常用圧力とは、通常の運転時におけるダクト内圧をいう。

(注2)　制限圧力とは、ダクト内のダンパの急閉などにより、一時的に圧力が上昇する場合の制限圧力をいう。

制限圧力内では、ダクトの安全強度が保持されているものとする。

(3)　保　　温

冷風供給

屋外露出部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(25t , 50t , 75t)　＋ ＲＡシート ＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・保温なし

屋内露出部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(25t , 50t , 75t)　＋ ＲＡシート ＋ 防湿層 ＋ アルミガラスクロス・保温なし

屋内隠蔽部　：　グラスウール・ポリスチレンフォーム　　(25t , 50t , 75t)　＋ ＲＡシート ＋ 防湿層 ＋ 綿布・保温なし

外気吸込

屋内露出部　：　グラスウール・スタイロフォーム　　(40t , 50t , 75t)　＋ ＲＡシート ＋ 防湿層 ＋ カラー鋼板・亀甲金網

(4)　塗　　装

保温無(屋外露出)　：　プライマー1回 ＋ 調合ペイント2回・塗装なし

保温無(屋内露出)　：　プライマー1回 ＋ 調合ペイント2回・塗装なし

保温無(屋内隠蔽)　：　塗装なし

一級建築士事務所
村 岡 建 築 設 計 事 務 所
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　　TEL.FAX　0986-76-3489
管理建築士登録番号　NO. 145049　　村 岡 昭 宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	冷凍冷熱設備工事特記仕様書　－０３	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	Ｆ－０４

4-4　電気設備工事

(1)　電 線 材

◯ 適用項目

適　用	種　　別	電　　線　　材	
	高圧配線	3.3kVトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル（3.3KV CVT）	JIS C 3606
		6.6kVトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル（6.6KV CVT）	JIS C 3606
	低圧動力配線	600V架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル（600V CV）	JIS C 3605
◯	電力配線	600Vトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル（600V CVT）	JIS C 3605
		600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VV-F）	JIS C 3342
		600Vビニル絶縁電線（IV）	JIS C 3307
◯	接地配線	600Vビニル絶縁電線（IV）	JIS C 3307
◯	制御配線	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル（CVV）	JIS C 3401
◯		静電遮蔽付制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル（CVV-S）	JCS　4258
		ビニルキャブタイヤ丸型コード(VCTF)	JIS C 3306
		マイクロホン用ビニルコード(MVV-S)	JCS　3271
	一般照明配線	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VV-F）	JIS C 3342
	非常用照明配線	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VV-F）（電池内蔵器具のみ）	JIS C 3342
	誘導灯配線	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VV-F）	JIS C 3342
	一般コンセント配線	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VV-F）	JIS C 3342
	火報感知器配線	警報用電線（AE）	JCMAマーク
	火報その他配線	耐熱電線（HP）	JCMAマーク
	スピーカー配線	耐熱電線（HP）	JCMAマーク
	インターホン配線	市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル（CPEV）	JCS　5224
	テレビモニター配線	高周波同軸ケーブル（ECX 5C2V）	JIS C 3501
		600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル（VCT）	JIS C 3312
		制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル（CVV）	JIS C 3401

(注1) ケーブルにはケーブル札を付け、番号，記号等を記入する。

(2)　配管材

◯ 適用項目

適　用	種　　別	電　　線　　材	
	屋内露出配管	薄鋼電線管	JIS C 8305
◯		ねじ無し電線管	JIS C 8305
		硬質ビニル電線管	JIS C 8430
		二種金属製可とう電線管（被覆なし）	JIS C 8309
	屋内隠蔽配管	ケーブルラック（鋼板製）	――――
		薄鋼電線管	JIS C 8305
◯		ねじ無し電線管	JIS C 8305
		合成樹脂製可とう電線管（PF管）	――――
	屋内埋込配管	合成樹脂製可とう電線管（CD管）	――――
◯	屋外露出配管	厚鋼電線管	JIS C 8305
		薄鋼電線管	JIS C 8305
		ねじ無し電線管	JIS C 8305
		二種金属製可とう電線管（ビニル被覆）	JIS C 8309
	屋外埋設配管	波付硬質ポリエチレン管（FEP）	――――

(注1)　防熱層の貫通箇所は、できる限り集約し、防熱層の内外面にボックスを設け、ボックスを介して電線を貫通させる。ボックス内は、ウレタンフォームを充填する。

(注2)　配線ルートが共通する部分については、ケーブルラックで施工するも可。

(3)　接地工事

接地工事の種類は「電気設備技術基準」に定めるA種～D種とし、接地抵抗率は下表に揚げる値以下とする。

◯ 適用項目

適　用	接地工事の種類	接 地 抵 抗 値
	A種 接地工事	10\U+03A9
	B種 接地工事	変圧器の高圧側または特別高圧側電路の１線地絡電流のアンペア数で150を除した値に等しい\U+03A9数以下
	C種 接地工事	10\U+03A9 以下
◯	D種 接地工事	100\U+03A9 以下

(4)　塗　　装

塗装方法

盤　　類　：　焼付仕上げ

屋内金属管　：　調合ペイント2回・塗装なし

屋外金属管　：　エッチングプライマー ＋ 調合ペイント2回

隠蔽金属管　：　錆止めペイント1回

鋼　　材　：　錆止めペイント1回 ＋ 調合ペイント1回

(注1) ボックス類は金属管に準ずる。

塗 装 色

盤　　類　：　5Y 7/1（内・外面共）・客先殿御指定色(マンセル NO.　　)　＋全艶 半艶

屋　　内　：　内装塗料色に合わせて行う。

屋　　外　：　シルバー

一級建築士事務所

村 岡 建 築 設 計 事 務 所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX　0986-76-3489

管理建築士登録番号　NO. 145049　村 岡 昭 宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	冷凍冷熱設備工事特記仕様書　－０４	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	F－０５

５．工事区分

-：該当工事無　○：工事範囲内　\U+00D7：工事範囲外（別途）

No	工事項目	工事区分	備考
1	機器設備工事		
-1	機器の製作・調達・運送	○	
-2	機器の搬入通路・搬入口工事	-	
-3	機器の搬入据付	○	
-4	機器基礎工事	-	
-5	機器架台工事	-	
-6	機器防熱・防露工事	-	
2	配管設備工事		
-1	冷却水配管工事	-	
-2	冷温水配管工事	-	
-3	冷水配管工事	-	
-4	温水配管工事	-	
-5	ブライン配管工事	-	
-6	冷媒配管工事	○	
-7	蒸気配管工事	-	
-8	補給水配管工事	-	
-9	ドレン配管工事	○	
-10	圧縮空気配管工事	-	
-11	燃料配管工事	-	
-12	配管防熱・防露工事	○	ＳＵＳ（屋外）
3	ダクト設備工事		
-1	冷風供給ダクト工事	-	
-2	外気ダクト工事	-	
-3	排気ダクト工事	-	
-4	排煙ダクト工事	-	
-5	ダクト防熱・防露工事	-	
4	電気設備工事		
-1	動力操作盤	○	
-2	動力操作盤までの動力一次側幹線工事	-	
-3	動力操作盤以降動力二次側工事	○	
-4	動力操作盤以降計装配線工事	○	
-5	動力操作盤以降の中央監視盤への配線及び接続工事	\U+00D7	動力操作盤内の端子出しまで本工事
-6	中央監視設備工事	\U+00D7	
-7	中央監視用タッチパネル	\U+00D7	
-8	パソコン調達	\U+00D7	
-9	警報関係電気工事	\U+00D7	
-10	照明工事	○	
-11	コンセント工事	○	
-12	照明・コンセント分電盤	○	
-13	照明・コンセント分電盤までの一次側配線工事	-	
-14	分電盤以降二次側配線工事	○	
-15	排煙関係電気工事	-	
-16	防災関係電気工事	-	

-：該当工事無　○：工事範囲内　\U+00D7：工事範囲外（別途）

No	工事項目	工事区分	備考
-17	通信・放送関係電気工事	-	
-18	接地工事	-	
-19	フォークリフト充電盤設備	○	
5	煙導工事	-	
6	開口部補修工事	-	
7	インサート入れ	-	
8	建築・建屋工事		
-1	冷凍・冷蔵庫パネル及び防熱工事	○	冷凍・冷蔵庫床防熱及び防湿・防水工事
-2	建屋躯体工事	-	
-3	フロワーヒーター工事	○	
-4	押えコンクリート、巾木及び仕上工事	○	
-5	凍上防止管工事	○	
-6	冷凍・冷蔵庫防熱扉工事	○	
-7	ドッグシェルター、オーバースライド扉工事	○	
-8	防熱扉ガード工事	○	
-9	機器設置の為の床及び梁補強工事	-	
-10	防水工事	-	
-11	建屋防熱貫通部箱入れ及び 防熱・防露工事	-	
-12	屋外冷凍機設置場所点検歩廊工事	-	
-13	天井・壁面の点検口工事	-	
-14	梁・壁・床・貫通スリーブ工事	-	
-15	機械室換気工事	-	
-16	エアーカーテン設置工事	○	
-17	天井裏換気設備工事	○	
9	消火設備工事	-	
10	給排水・衛生設備工事		
11	既設機器の撤去及び移設工事		
*	官庁手続代行	\U+00D7	
*	試運転調整	○	
*	現地にて使用する電気・水 作業場等	\U+00D7	
*	その他見積書，仕様書に 明記なき事項一切	\U+00D7	

一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	冷凍冷熱設備工事特記仕様書　－０５	縮尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図番	F－０６

61階　平面図 S:1/100

機器表

記号	機器仕様	台数	ユーティリティー				設置場所		備考
			電気	冷水	冷却水	蒸気	階	室名	
			kW	L/min	L/min	kg/h			
LAC-1	低温用エアコン（空冷インバータ）	2	9.60				1F	プラットホーム	プラットホーム用
1～2	型式 LSVLP8BA								室外機は屋外GL
	冷却能力 24.7 kW (Tr=15℃)								室内機ケーシング、ドレンパンは鋼板
	圧縮機 2.4+3.6 kW								製焼付塗装又はアルミ製とします。
	室内機ファン 0.2 kW\U+00D72								
	凝縮器ファン 0.75 kW\U+00D72								
	デフロスト方式 ホットガス								
	冷媒 R410A								
	電源 3C，200V，60HZ								
	同等以上の能力を有する製品は使用可とする。								
LAC-2	低温用エアコン（空冷インバータ）	1	2.77				1F	前室	前室用
	型式 LSVLP3A								室外機は屋外GL
	冷却能力 3.96 kW (Tr=-5℃)								室内機ケーシング、ドレンパンは鋼板
	圧縮機 2.38 kW								製焼付塗装又はアルミ製とします。
	室内機ファン 0.05 kW\U+00D72								
	凝縮器ファン 0.07 kW								
	デフロスト方式 ホットガス								
	冷媒 R410A								
	電源 3C，200V，60HZ								
	同等以上の能力を有する製品は使用可とする。								
LAC-3	低温用エアコン（空冷インバータ）	2	30.2				1F	凍結保管庫（1）	凍結保管庫（1）用
1～2	型式 LSVEP30BA								室外機は屋外GL
	冷却能力 24.9 kW (Tr=-25℃)								室内機ケーシング、ドレンパンは鋼板
	圧縮機 (1.5+1.8+1.8) kW\U+00D72								製焼付塗装とします。
	ファン 0.08 kW\U+00D72								
	圧縮機 (2.3+3.6+3.6) kW								
	ファン 0.75 kW\U+00D72								
	圧縮機 1.7 kW								
	ファン 0.35 kW								
	室内機ファン 2.2 kW\U+00D72								
	補助ヒータ 5.694 kW								
	デフロスト方式 ホットガス								
	冷媒 R410A								
	電源 3C，200V，60HZ								
	同等以上の能力を有する製品は使用可とする。								
LAC-4	低温用エアコン（空冷インバータ）	1	30.2				1F	凍結保管庫（2）	凍結保管庫（2）用
	型式 LSVEP30BA								室外機は屋外GL
	冷却能力 24.9 kW (Tr=-25℃)								室内機ケーシング、ドレンパンは鋼板
	圧縮機 (1.5+1.8+1.8) kW\U+00D72								製焼付塗装とします。
	ファン 0.08 kW\U+00D72								
	圧縮機 (2.3+3.6+3.6) kW								
	ファン 0.75 kW\U+00D72								
	圧縮機 1.7 kW								
	ファン 0.35 kW								
	室内機ファン 2.2 kW\U+00D72								
	補助ヒータ 5.694 kW								
	デフロスト方式 ホットガス								
	冷媒 R410A								
	電源 3C，200V，60HZ								
	同等以上の能力を有する製品は使用可とする。								

記号	機器仕様	台数	ユーティリティー				設置場所		備考
			電気	冷水	冷却水	蒸気	階	室名	
			kW	L/min	L/min	kg/h			
EF-1	有圧換気扇	6	0.4				1F	天井裏	天井裏換気用
1～6	型式 EG-50ETB3								
	風量 3,100 m3/h								
	静圧 120 Pa								
	出力 400 W								
	電源 3C，200V，60HZ								
	付属品 ED付ウェザーカバー（SUS製）								
	防虫網付								
	同等以上の能力を有する製品は使用可とする。								

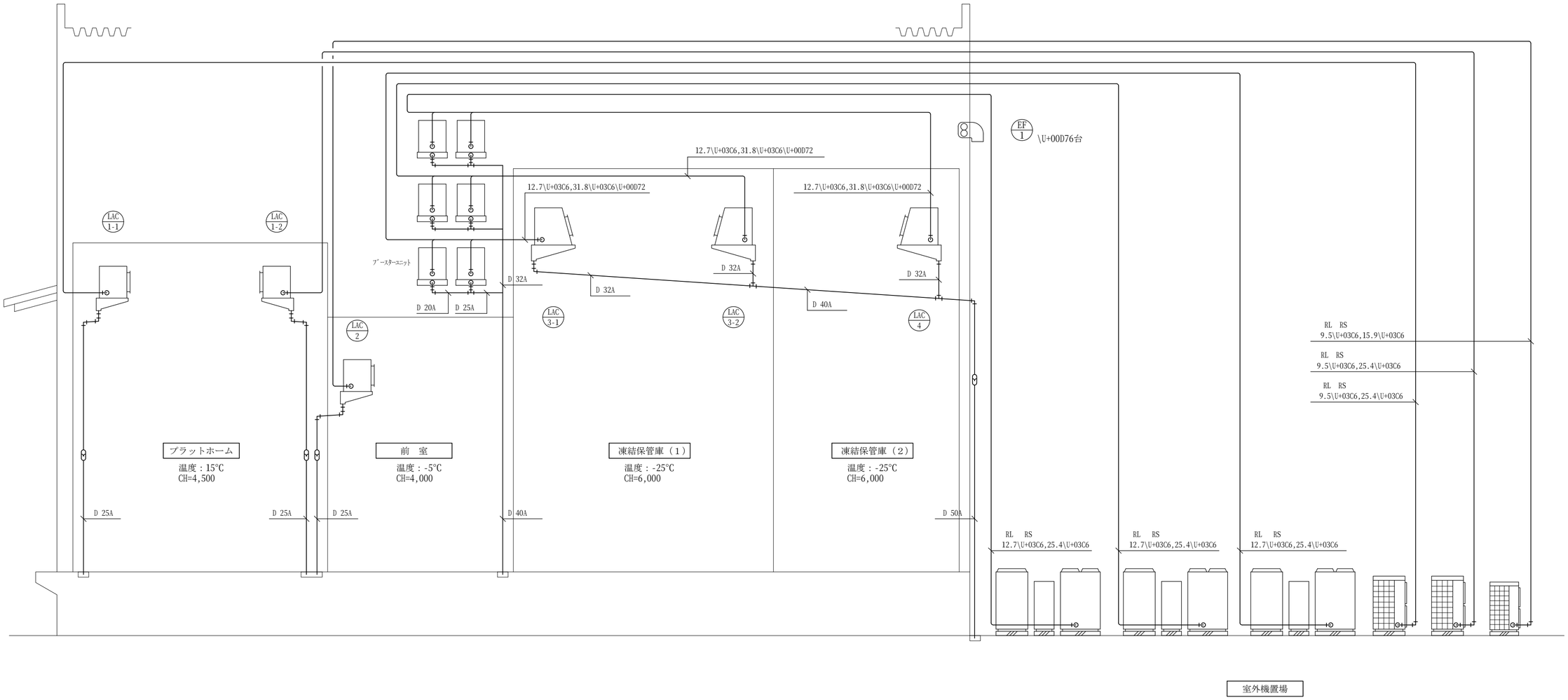
一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

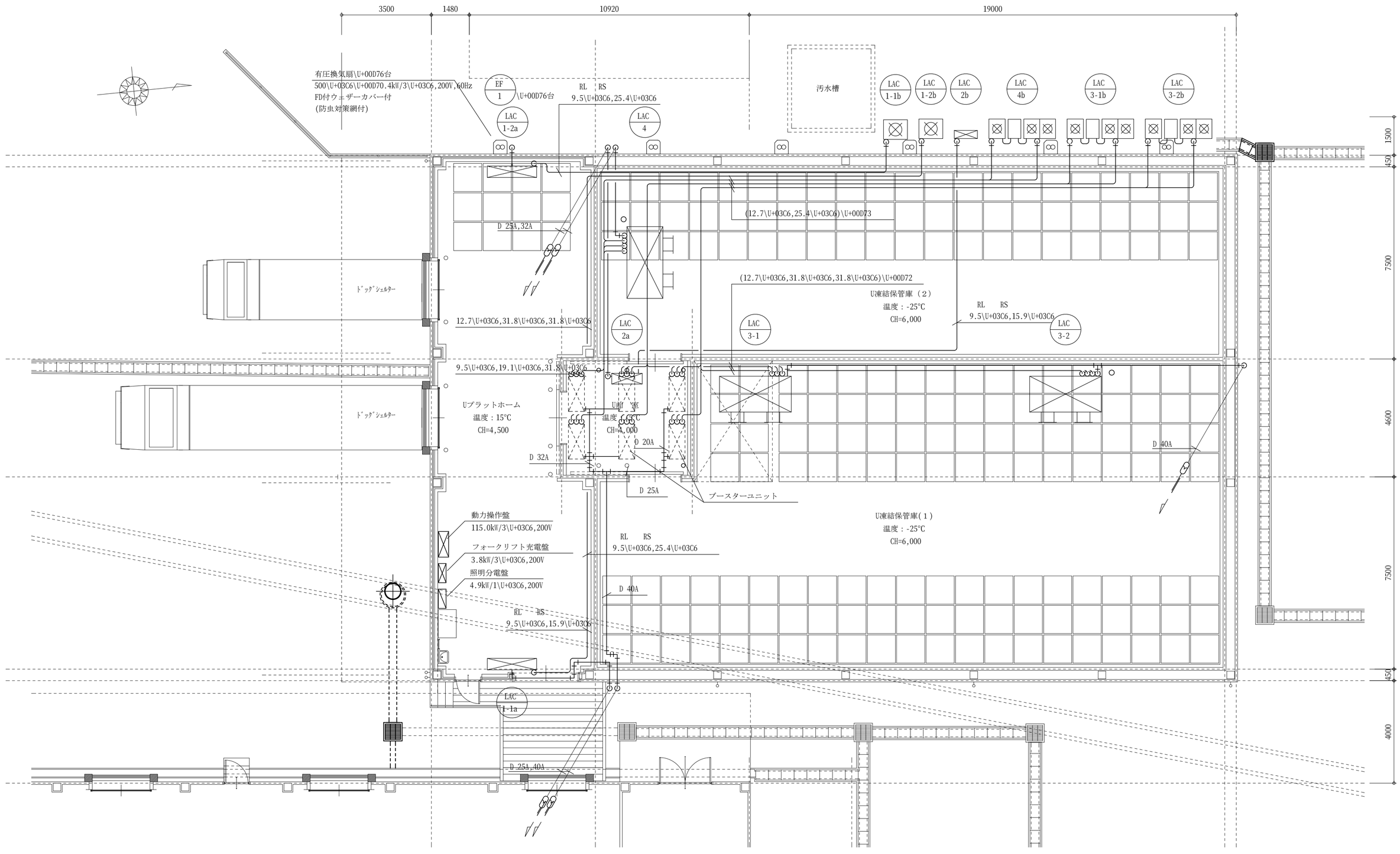
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	冷凍冷熱設備工事機器表	縮尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－０７

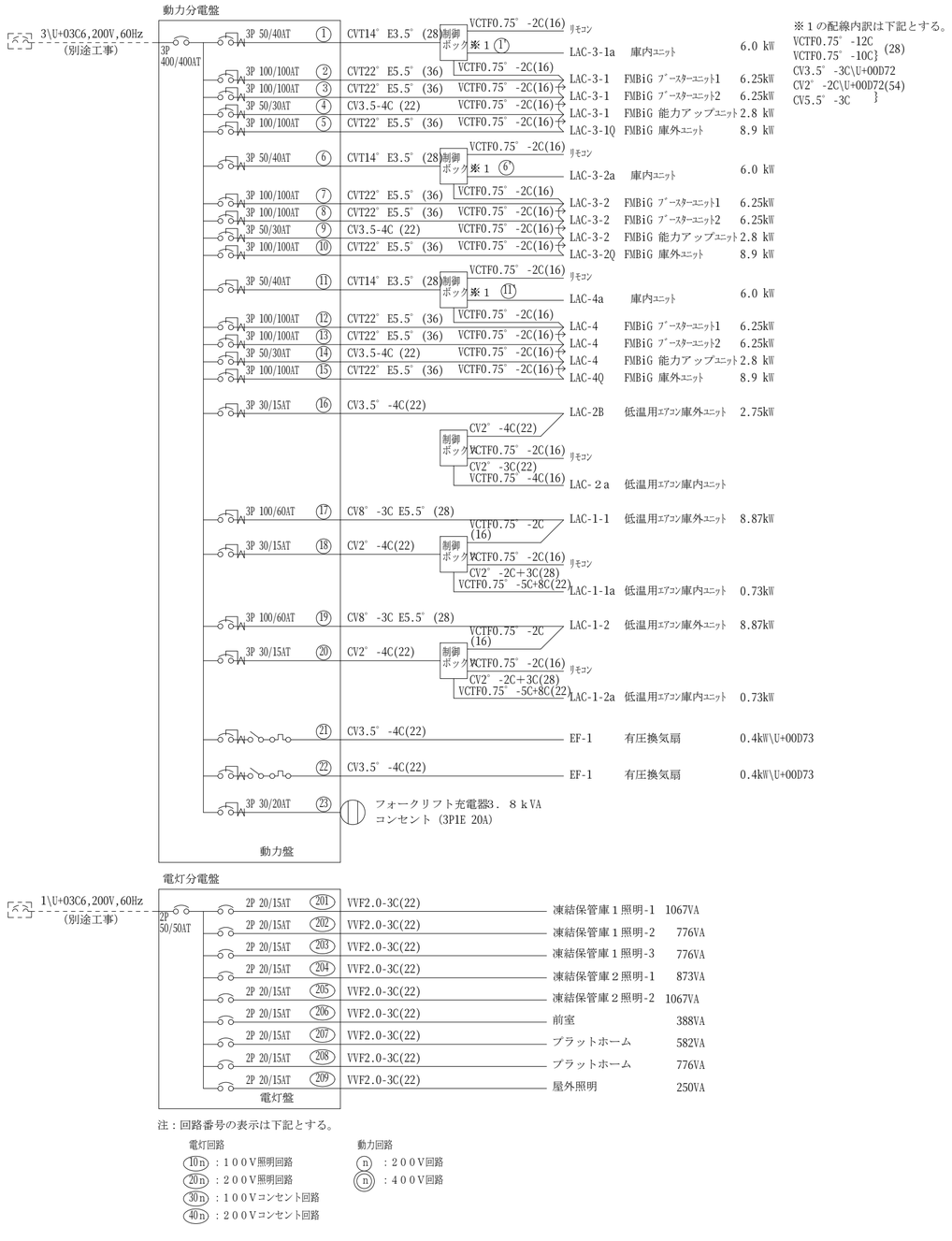


	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	冷凍冷熱設備工事系統図	縮尺	NO SCALE
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－０８



	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡 昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	冷凍冷熱設備工事平面図	縮尺	1 ／ 100
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－０９

０１　配線系統図

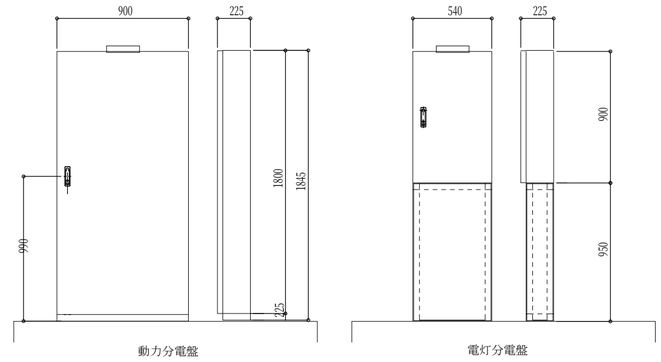


※１の配線内訳は下記とする。
VCTF0.75゛ -12C
VCTF0.75゛ -10C ｝(28)
CV3.5゛ -3C\U+00D72
CV2゛ -2C\U+00D72(54)
CV5.5゛ -3C ｝

注：回路番号の表示は下記とする。

電灯回路		動力回路	
⑩n	１００Ｖ照明回路	ⓝ	２００Ｖ回路
⑳n	２００Ｖ照明回路	ⓝ	４００Ｖ回路
㉚n	１００Ｖコンセント回路		
㊵n	２００Ｖコンセント回路		

０２　盤参考外形図



０３　照明器具外形図

ＦＨＦ３２Ｗ\U+00D72　低温用器具

防湿・防雨・防塵型
低温用　－４０℃～３５℃
ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
本体：アルミ（ホワイト）
反射笠：アルミ（ホワイト）

パナソニック電工　ＪＳＦ４２５０３Ｋ　相当品

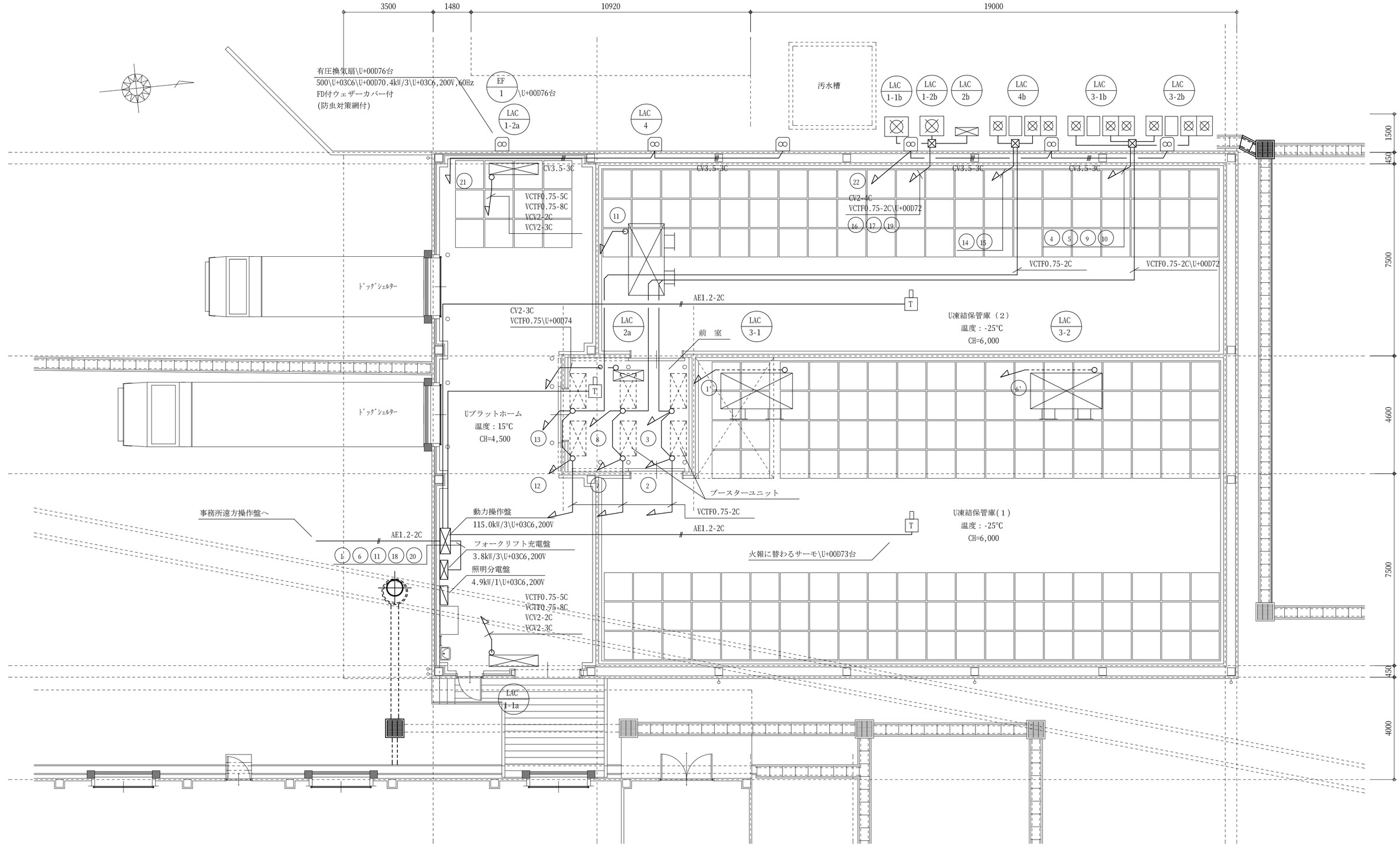
ＦＨＦ３２Ｗ\U+00D71　ウォールライト

防湿型・防雨型
ボルトフリー（１００－２４２Ｖ）
低誘虫仕様
本体：ステンレス
カバー：アクリル（乳白・低誘虫仕様）

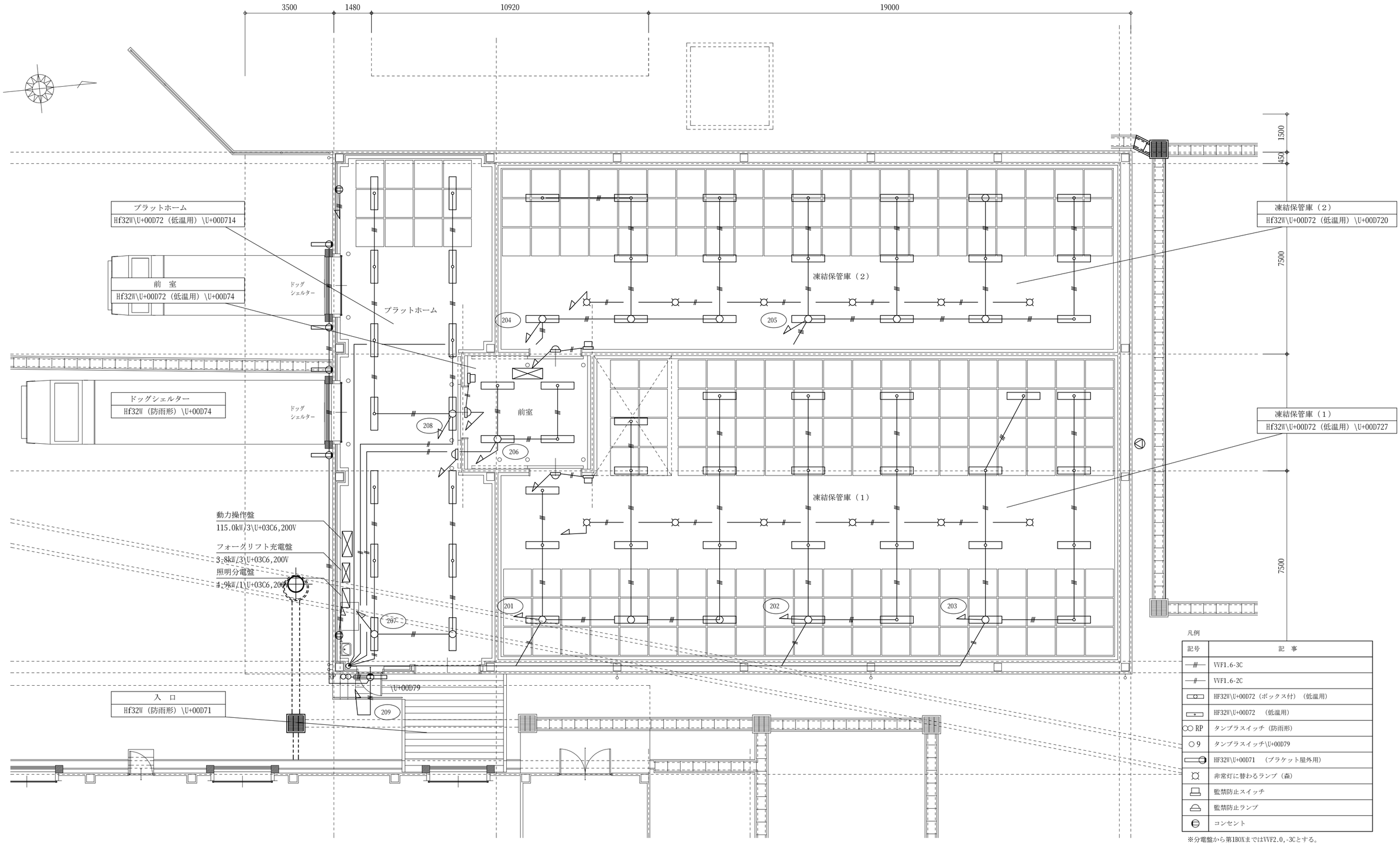
パナソニック電工　ＪＳＦ４１８７０　相当品

一級建築士事務所
村岡建築設計事務所
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489
管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	冷凍冷熱設備工事電気系統図	縮尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図番	Ｆ－１０



	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	冷凍冷熱設備工事電気動力設備図	縮尺	1 ／ 100
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－１１



凡例

記号	記　事
—///	VVF1.6-3C
—//	VVF1.6-2C
	HF32W\U+00D72（ボックス付）（低温用）
	HF32W\U+00D72　（低温用）
○○ RP	タンブラスイッチ（防雨形）
○ 9	タンブラスイッチ\U+00D79
	HF32W\U+00D71　（ブラケット壁外用）
	非常灯に替わるランプ（森）
	監禁防止スイッチ
	監禁防止ランプ
	コンセント

※分電盤から第1BOXまではVVF2.0,-3Cとする。

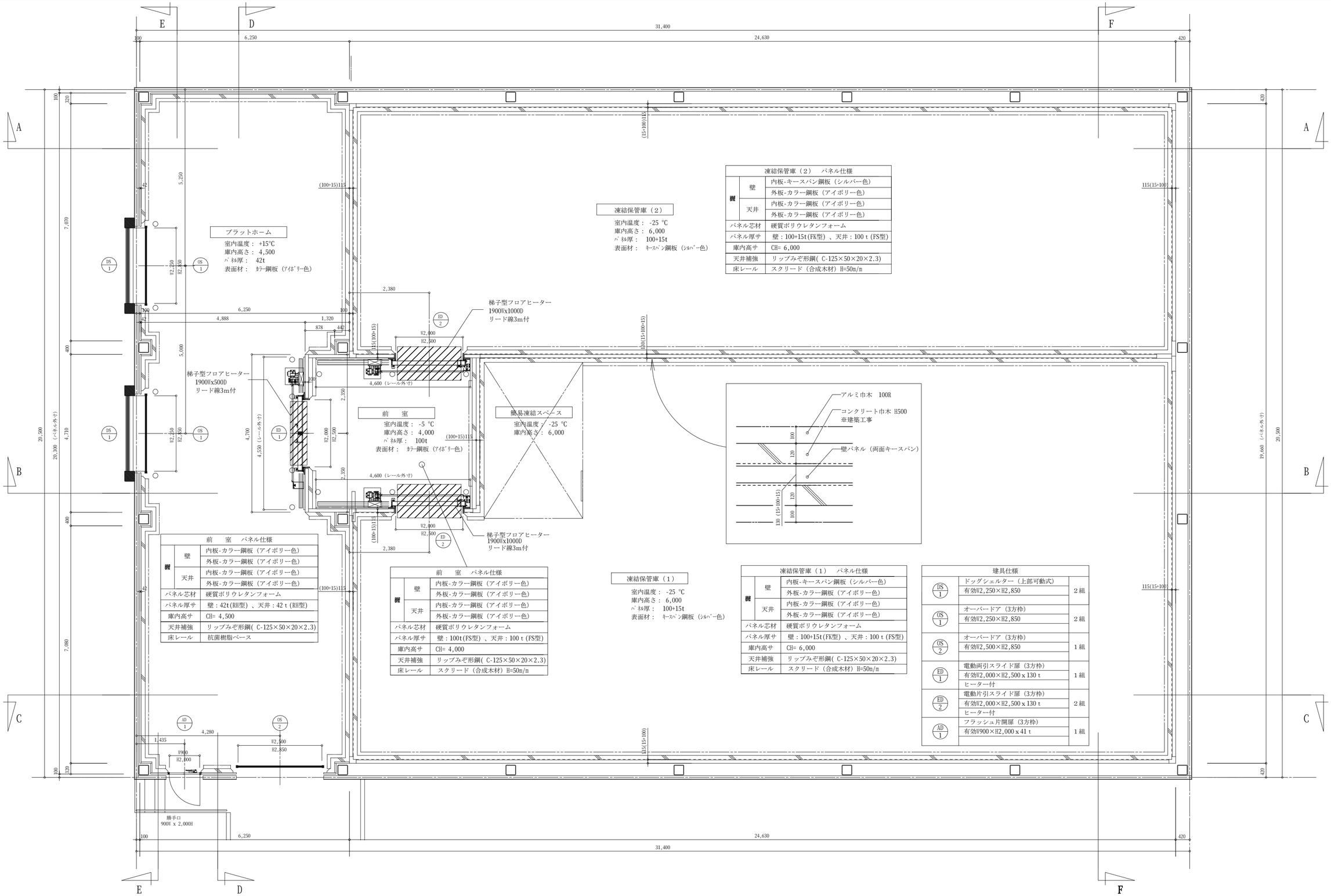
件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	冷凍冷熱設備工事電気電灯設備図	縮　尺	1 ／ 100
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	F－１２

一級建築士事務所

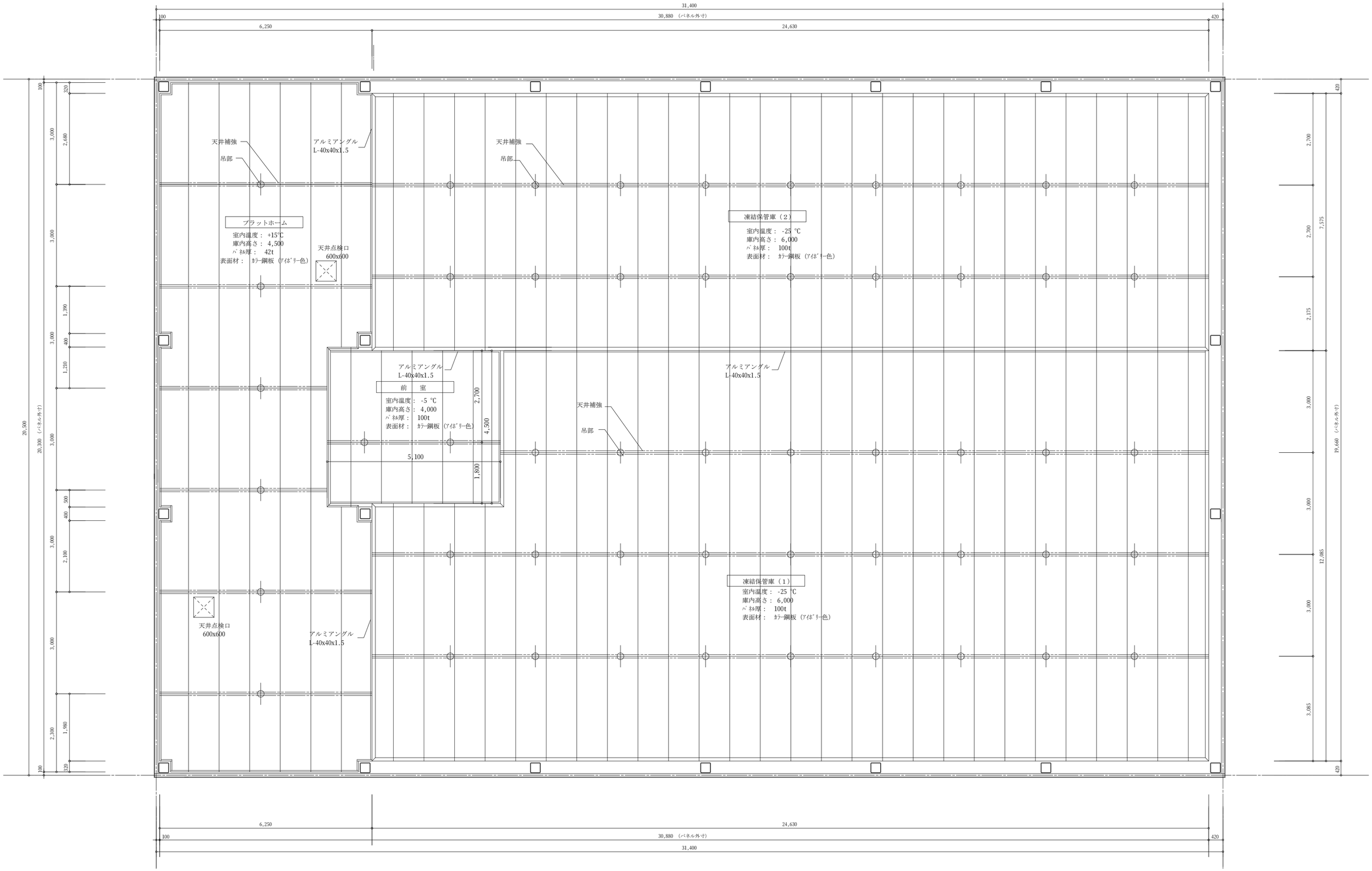
村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　　TEL.FAX　0986-76-3489

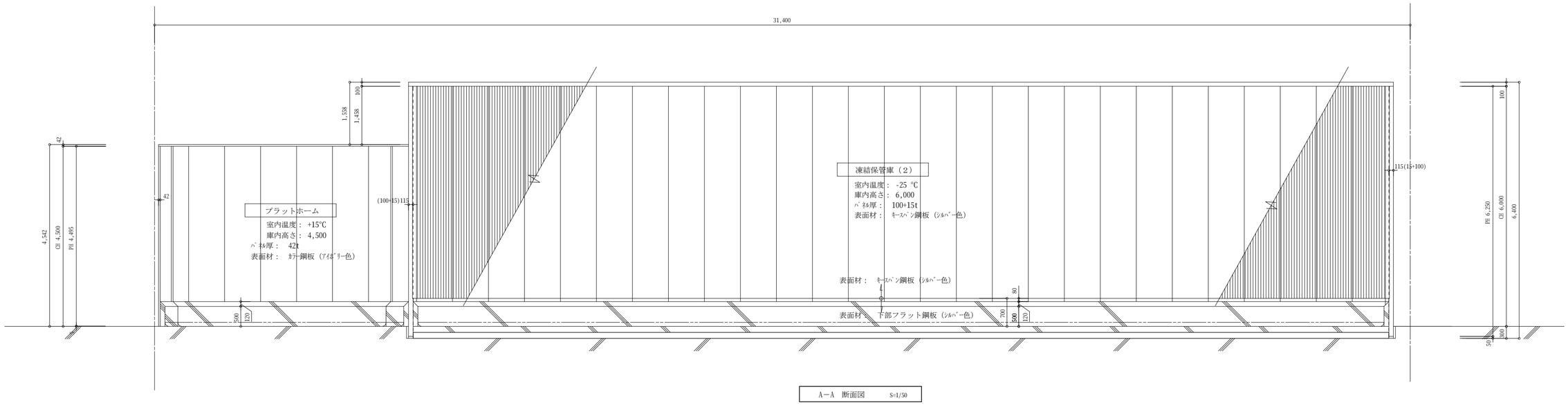
管理建築士登録番号　NO. 145049　　村　岡　昭　宏



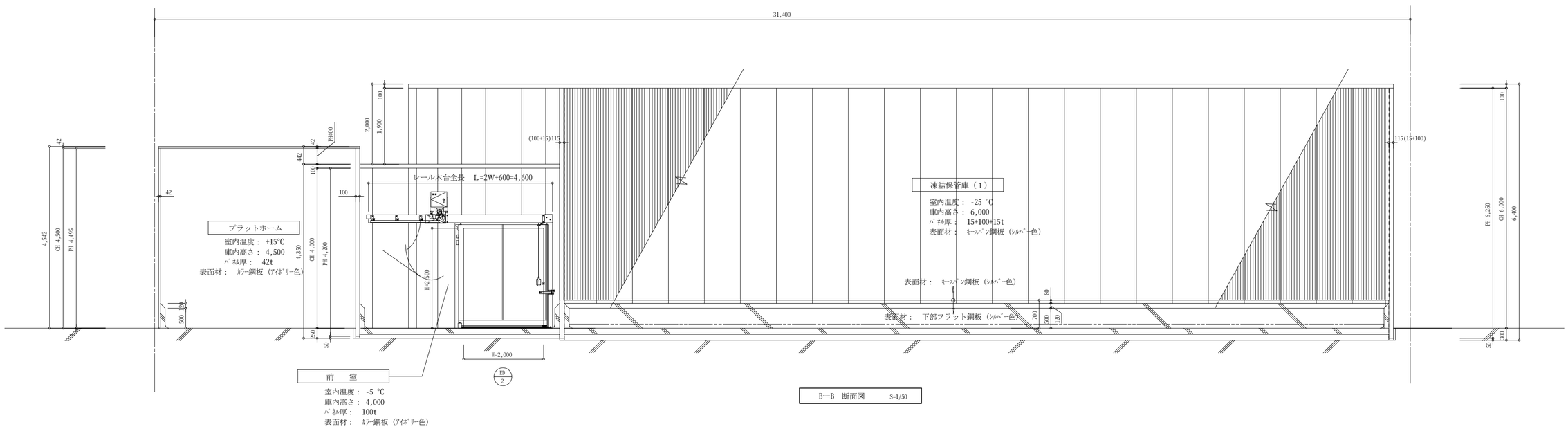
一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
	図名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル平面図	縮尺	1／75
	建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－１３



	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル天井伏図	縮尺	1／75
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－１４



A－A 断面図 S=1/50



B－B 断面図 S=1/50

70階 平面図 S:1/100

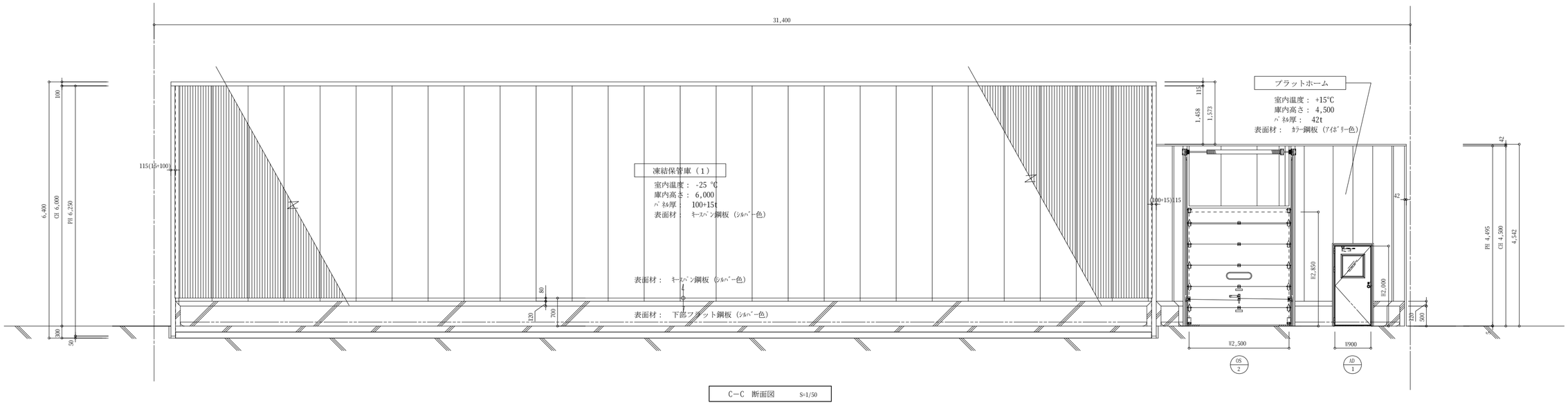
一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

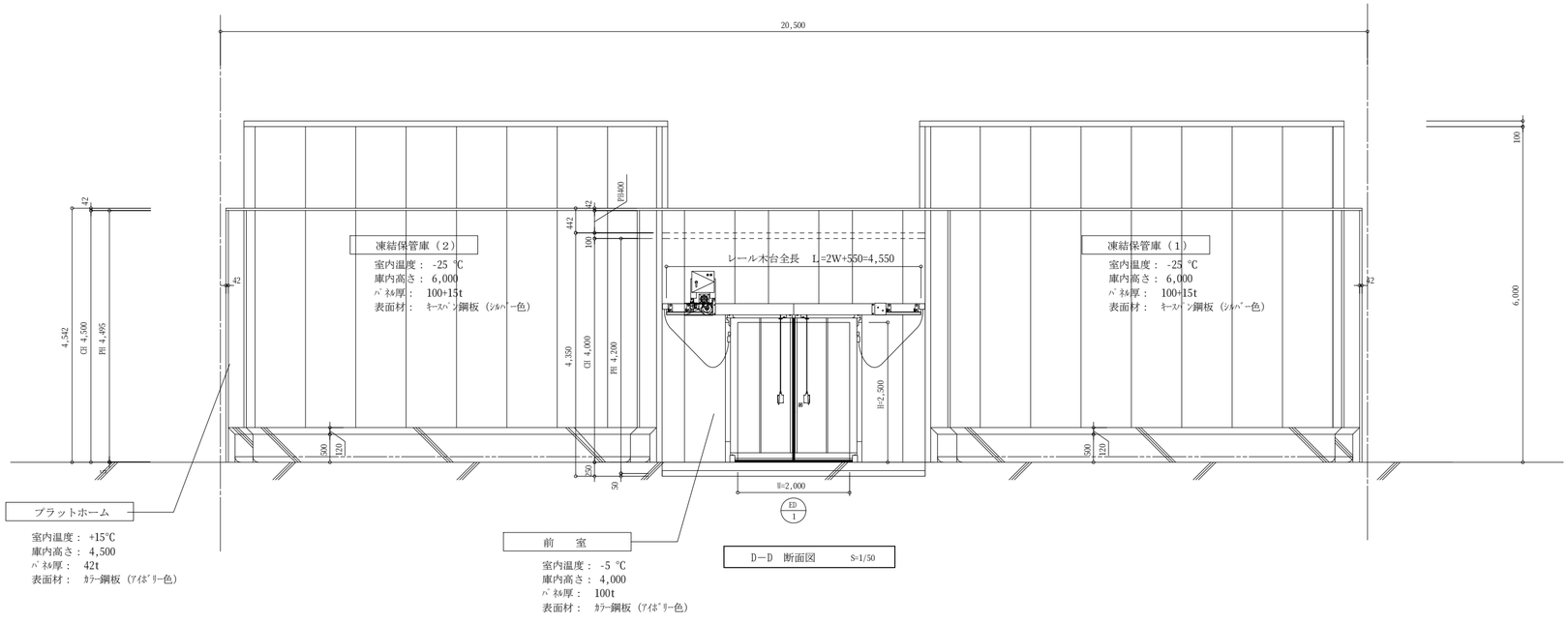
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049 村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－１	縮尺	１／75
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	Ｆ－１５



C－C 断面図 S=1/50



D－D 断面図 S=1/50

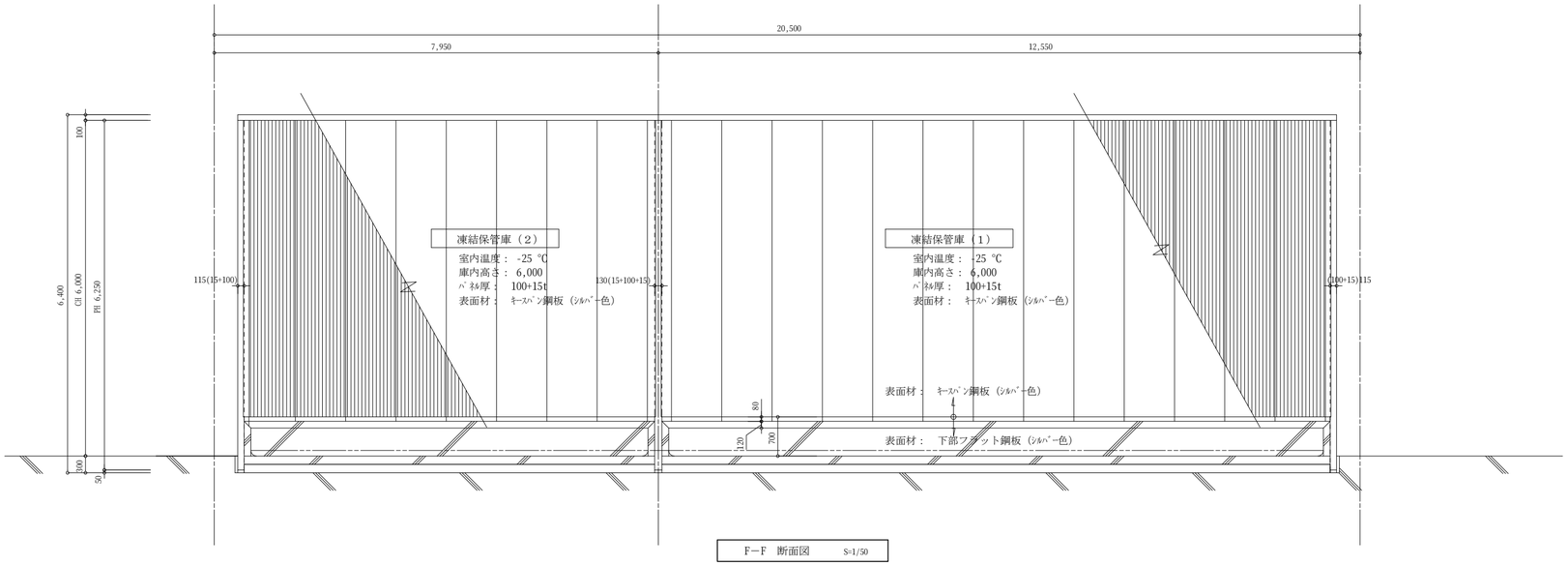
一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

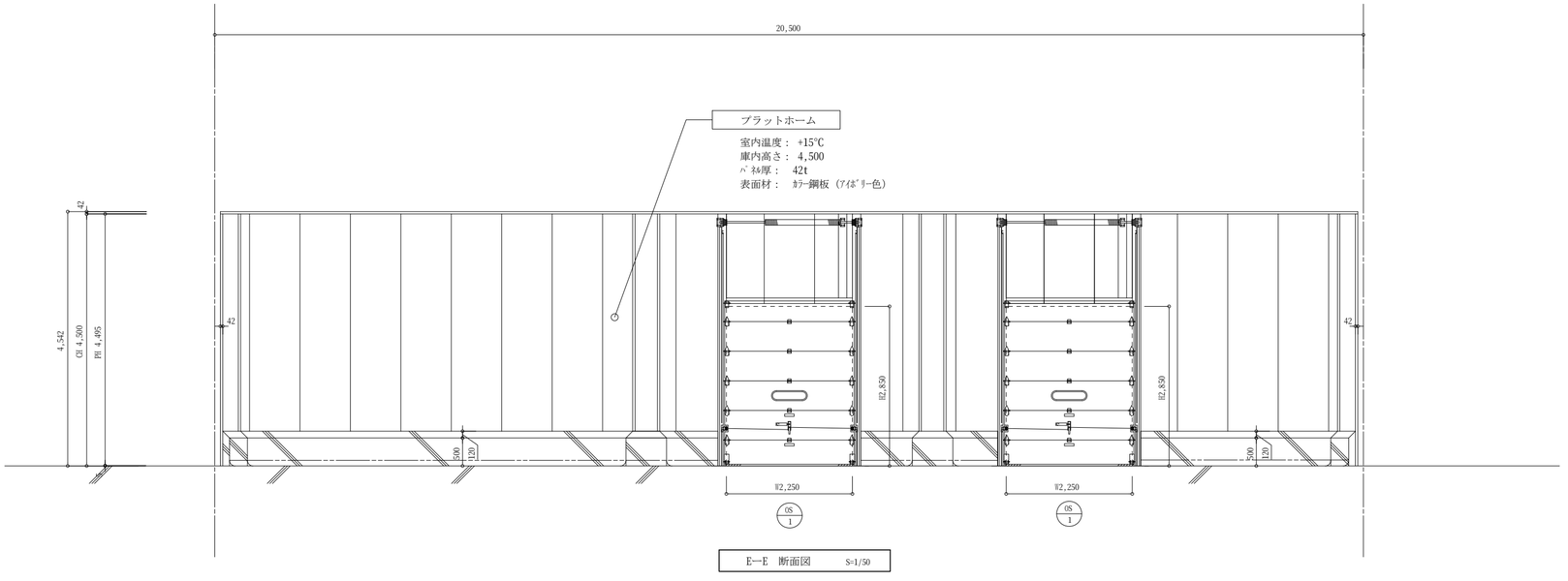
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049 村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－２	縮尺	１／75
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	Ｆ－１６

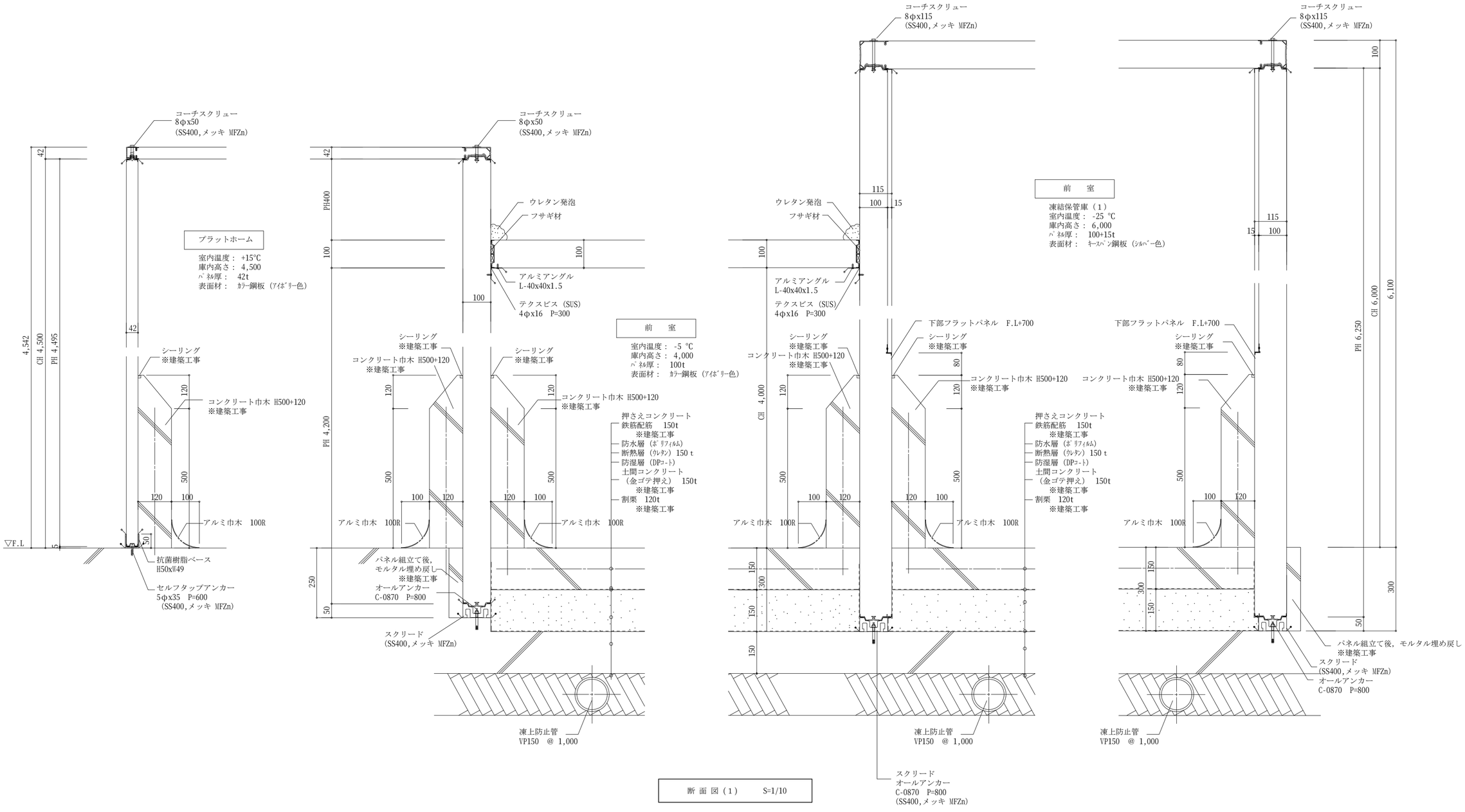


F―F 断面図 S=1/50



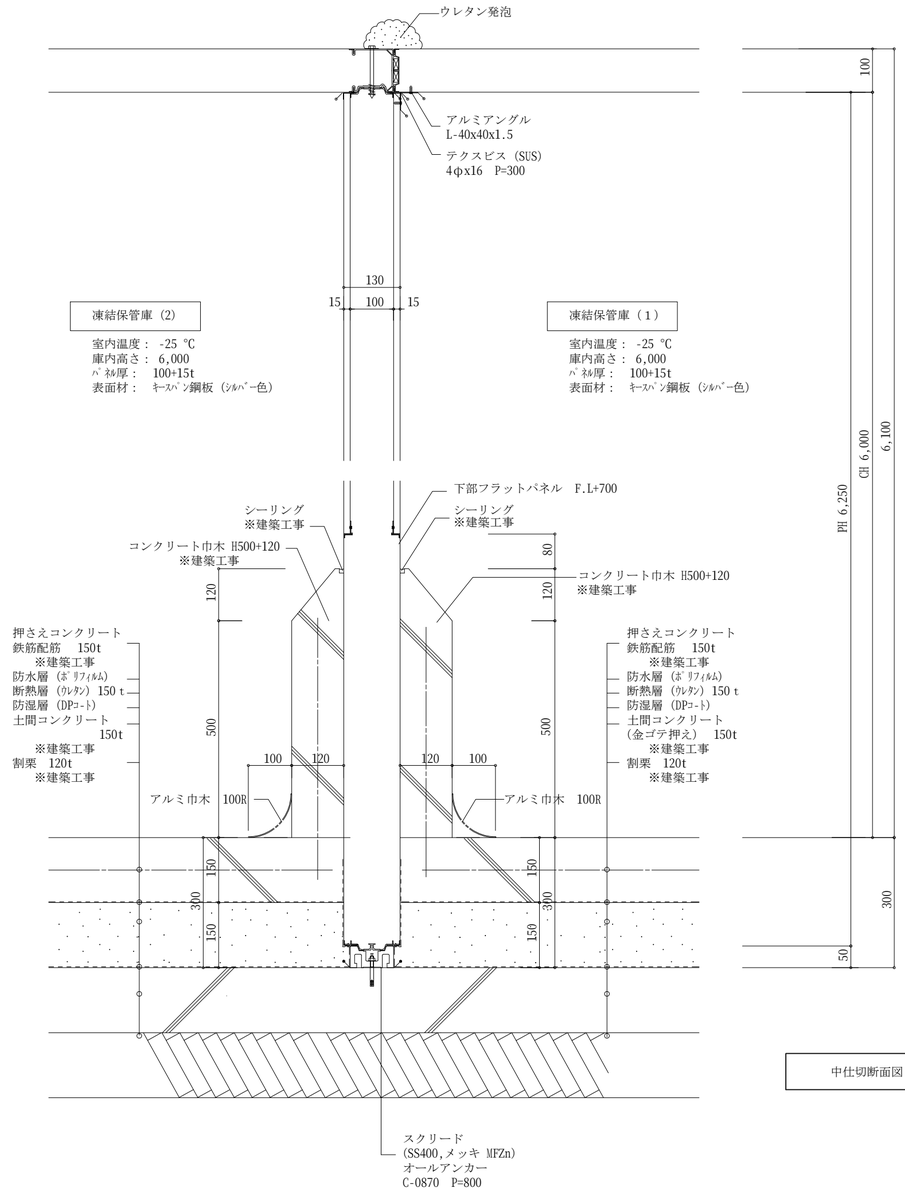
E―E 断面図 S=1/50

	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049 村岡昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵施設冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル立面図－３	縮尺	1／75
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	F－１７

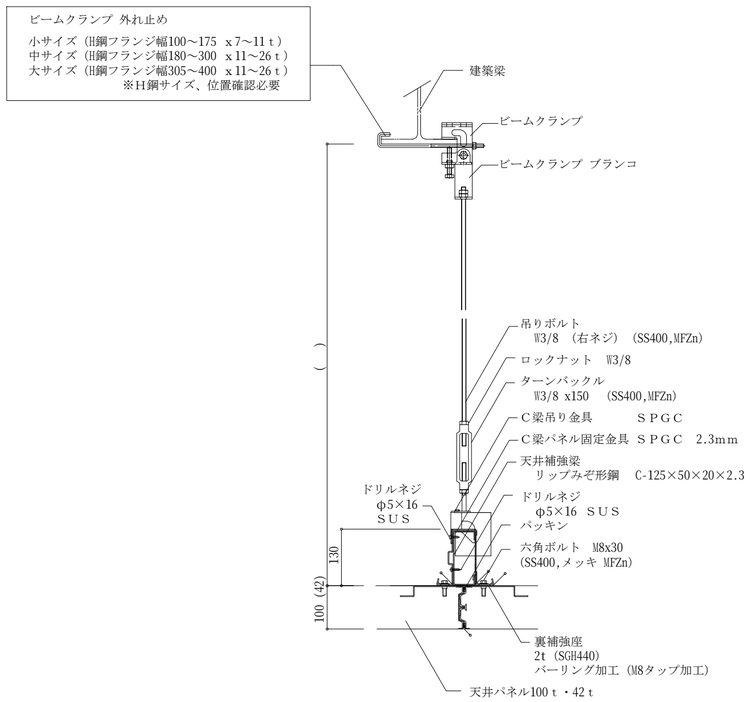


断 面 図（１） S=1/10

	一級建築士事務所 村 岡 建 築 設 計 事 務 所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049 村 岡 昭 宏	件 名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日 付	2011 － 03
		図 名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル断面図－１	縮 尺	１／10
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 １ - 23 - 24 号	図 番	Ｆ－１８



中仕切断面図　　S=1/10



天井補強吊部詳細図　　S=1/10

断 面 図（２）　　S=1/10

	一級建築士事務所 村 岡 建 築 設 計 事 務 所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX　0986-76-3489 管理建築士登録番号　NO. 145049　村 岡 昭 宏	件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
		図　名	冷凍冷熱設備工事断熱パネル断面図－２	縮　尺	1 ／ 10
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	Ｆ－１９

特　記　仕　様　書

建物概要	構　造	○ＲＣ　○ＳＲＣ　●Ｓ　○Ｗ
	階	地下　１階　地上　１階
	延べ床面積	㎡　（対象面積　㎡）
	建物用途	建築基準法別表第一
	：	消防法施行令別表第一

工　事　項　目

給排水衛生工事		空気調和工事
●衛生器具工事	○消火工事	○空気調和工事
●給水工事	○ガス工事	○換気工事
●排水工事（含通気）	○浄化槽工事	
○給湯工事	○厨房器具工事	

Ⅰ　一般事項

１．本工事は、本特記仕様書によるほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成１９年版）同上監修公共建築改修工事標準仕様書（機械設備編）（平成１９年版）並びに国土交通省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書（平成１６年版）（以下標準仕様書という）、建設省住宅局建設指導課監修建築設備耐震設計・施工指針（１９９７年版）による。

２．本工事の使用資材の品質、規格、種別等は、本特記による。

３．本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて請負業者の負担とする。

４．施工計画書は、着工に先だち、監督員に提出する。

５．本工事に下記の当該職種別技能士を適用させる。（但し●印のみ）
○配管技能士　○ダクト板金技能士　○熱絶縁施工技能士　○冷凍、空気調和機器施工技能士〔　標　P-15 1.5.2　〕

６．本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して立会検査もしくは指示に従うこと。〔　標　P-16 1.5.6　〕

７．設計図書に明記なくとも関係法令上または機器の機能上当然必要となるものについては、原則として請負金の範囲内で施工する。

８．発生材の処置については、監督員の指示によること。〔　標　P-9 1.3.9　〕

９．本工事の施工に伴う既設建物の破損箇所は従来にならい復旧する。

10．前払金について
○契約金額の４０％の範囲内で請求することができる。
○出来高予定額の４０％の範囲内で請求することができる。
｛契約会計年度の率は，契約金額の　％程度，次年度の率は　％程度である
○建設工事請負契約書第 52 条第 3 項を適用し，原則として契約会計年度に翌会計年度分も含めて，契約金額の４０％の範囲内で請求することができる。

11．中間前金払い又は部分払いについて
本工事において，中間前金払い又は部分払いのいずれかを選択するものとする。
１）中間前金払い
○中間前金払いを選択した場合，部分払いは行わない。
○中間前金払いを選択した場合でも，契約会計年度末には出来高予定額に応じた部分払いを受けることができる。｛契約会計年度出来高予定　％｝
中間前金払いは契約金額の２０％以内とし，前金払いとの合計額が契約金額の６０％を超えないものとする。
２）部分払い
本工事で前払い金を支払ったものについては２回、支払いがなされていないものについては３回を超えて部分払いをすることはできない。

12．「工事カルテ」の作成の必要がある場合（工事請負代金が５００万円以上）には，工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督職員に提出し承諾を受けた後に，（財）日本建設情報総合センターにフロッピーディスクにより登録するとともに登録結果（工事カルテ受領書）の写しを監督職員に提出すること。
（　2,500　万円未満は受注時のみ，それ以上は受注時，変更時及び完成時）
ただし，期間については契約締結後，土，日，祝日を除く１０日以内とする。〔　標　P-4 1.1.4　〕

13．下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用について
請負業者は，工事の一部を下請に付する場合は，施工地を管轄する地域振興局等の管内に主たる営業所を有する者を使用するようにに努めることとする。ただし，管内に対象業者がいない場合は，県内業者も可とする。

14．県産資材等の優先使用について
工事に使用する資材については，県内で産出，生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし，さらに，県産資材以外の資材等についても，県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

Ⅱ　特記事項

１．特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
２．建設工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のため必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に明記のない場合は、監督員の指示によること。
３．別契約との関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進ちょくを図るものとし、疑問が生じたら監督員の指示によること。
４．施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。
５．完成図	設計原図を施工現場と一致するよう訂正をした後、下記製本およびＣＤ－ＲＯＭを提出する。訂正した原図は監督員に返納する。完成図の提出期限は工事契約期間の終了する日以内とする。〔　標　P-17 1.7.2　〕〔　●Ａ－４版１部，●Ａ－３縮小版２部，○Ａ－１サイズ　部　〕
６．試験成績書	都市ガス設備、液化石油ガス設備は、ガス供給事業者の規定する気密試験成績書を２部提出する。県指定様式による。その他の試験成績書は監督員の指示による。〔　標　P-16 1.5.5　〕〔　標　P-17 1.7.1　〕
７．申請書類	本工事の施工に必要な官公署への申請書類は原本またはその写しを２部ずつ作成し、完成図と一緒に提出する。〔　標　P-4 1.1.3　〕〔　標　P-17 1.7.1　〕
８．保守指導案内書	本工事の機械設備について保守管理上必要な案内書をワープロ等にて２部作成し、完成図と一緒に提出する。（Ａ－４版）〔　標　P-17 1.7.3　〕
９．工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末見込みの出来高等を当月の２０日までに監督員に提出する。（Ａ－４版）
10．工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じて撮影し、工程順に整理したものを請負者にて保管する。 なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。また、施工された設備の全部もしくは一部が地中又は水中に埋没あいはコンクリートに埋込まれる設備は写真で確認できる様にすること。必要に応じてスケール写し込みとする。 工事写真は次の条件を満たすものであること。 (1)　原則として，電子媒体による写真を使用するものとし，デジタルカメラの有効画素数　100 万画素以上、プリンターは、フルカラー　300dpi　以上の機能を有する機種とし、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで、３年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2)　「現行のカラー写真」と電子媒体による写真の混合管理は原則として行わないこと。 (3)　現行のカラー写真も可とする。 (4)　請負者は、完成検査若しくは工事目的物引渡が完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。（Ａ－４版）〔　標　P-7 1.2.4　〕
11．マニフェスト	(1)　産業廃棄物となる資機材は，産業廃棄物管理票制度（マニフェストシステム）により適正に処理すること。 (2)　検査時には，マニフェストシステム関係書類の控えを提出し産業廃棄物の処理が適正に行われたことの確認を受けること。 (3)　関係書類は施工者にて５年間保管すること。
12．産業廃棄物税	本工事により発生する建設廃棄物のうち，焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には，産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
13．施工中の安全確保及び環境保全	(1)　台風など風水害による現場被害が予想される場合は，事前の現場養生を確実に行い災害の予防に努めること。 (2)　なお，事前の対策完了報告および事後の現場状況報告を，書面にて監督職員に提出すること。（盆，正月等長期間現場運営を休止する場合も同様とする） (3)　塗装，シーリング材，接着剤その他の化学製品の取扱いに当たっては，当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データーシート　(MSDS)　を常備し，記載内容の周知徹底を図り，作業者の健康，安全の確保及び環境保全に努める。〔標　P-9 1.3.5　，　P-10 1.3.8　〕
14．解体等作業時の石綿対策	解体及び改修作業において，石綿含有建築材料を撤去する必要が生じた場合には，ただちに監督職員に報告すると共に，作業においては「石綿障害予防規則」を遵守すること。

※この特記仕様書における参考ページの略号は以下のとおりとする。
標＝標準仕様書，監＝監理指針，図＝標準図

Ⅲ　特記仕様（下記項目及び特記事項中●印を付けたものを本工事に適用）

項　目	特　記　事　項
① 共通事項	
１．環境への配慮	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定めるところにより，環境負荷を低減できる機器及び材料を選定するように努める。〔　標　P-11 1.4.1　〕
２．機　材	使用資機材は，原則新品とし，ＪＩＳ・ＪＷＷＡ等標準仕様書に定められた規格品とする。 使用機材は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」記載品、または同等品以上のものとする。〔　標　P-11 1.4.2　〕
３．化学物質を放散する建築材料等	塗料，接着剤，保温材等の材料については，原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「Ｆ☆☆☆☆」の材料を使用すること。〔　監　P-62 1.4.1　〕
４．防火区画貫通部	区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の充填材はモルタルまたはロックウールとし、保温材はロックウールとする。 国土交通大臣認定工法（防火パテ等）の使用も可。〔　標　P-74 2.8.1，　監 P-277 2.8.1　〕
５．配管用のスリーブ	地中部分等で水密を要する部分はつば付鋼管とし，地中部分で水密を要しない部分のスリーブは，ビニル管とする。 上記以外は原則として亜鉛鉄板製とするが，柱及び梁以外の個所で，開口補強が不要であり，かつ，スリーブ径が　200㎜　以下の部分は，紙製仮枠として良い。〔　標　P-47 2.2.23　〕〔　標 P-74 2.8.1　〕〔監　P-277　～　282　〕
６．専用工具の使用	塩ビライニング鋼管、ポリ粉体鋼管及び外面被覆鋼管は、帯のこ盤又は丸のこ機などで切断し、パイプカッターによる切断は禁ずる。ねじ切り機は、自動切り上げ装置付とする。 ねじ切りに際しては、ねじゲージを使用して適正（　JIS　ねじ）に切られているか確認する。 （施工手順を撮影の上，工程写真に表す。）〔　標　P-58 2.5.1　〕
７．配管接合材	事業者からの指定がある場合を除き，原則としてライニング鋼管はヘルメシール８８同等とする。〔　標　P-48 2.2.24　〕
８．支持金物類	屋外、ピット内及び多湿箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。
９．外面被覆鋼管の傷部補修	埋設施工される外面被覆鋼管（内外面被覆含む　）については，継手スリーブ端及びチャック・パイプレンチの傷部分にプラスチックテープを巻くこと。（露出部分は原則不要）〔　監　P-229 2.5.4　〕
10．鋼管の傷部補修	鋼管（内面被覆鋼管含む　）については，ねじ込んだ後，残りねじ部及びチャック・パイプレンチの傷部分に，十分さび止めペイントを塗布すること。〔　監　P-218 2.5.2　〕
11．排水横引管への接続	原則としてＹ管接続とする。（ﾄﾞﾚﾝ　配管含む　）
．建物導入部の配管	管のたわみ性を利用した方法（スリークッション）で施工する。エルボ×５　〔　図　P-102　〕
13．標準埋設深さ	ビニル管（一般４５０Ｈ・車路６００Ｈ）　鋼管（一般３００Ｈ・車路６００Ｈ）〔　標　P-73 2.7.2，　監　P-273 2.7.2　〕
14．土中埋設鋼管類（エラスト継手及び排水用鋼管もこの項に準じる）	外面を被覆していない鋼管は、プライマーを塗布のうえ、防食テープ１／２重ね１回巻きをさらにプラスチックテープ（　JIS Z 1901　に準じたもの、厚さ　0.4㎜　）で１／２重ね１回巻きを行う。 また、継手等の部分は　，ペトロラタム系の充填材を詰め，表面を平滑にしたうえで防食シートで包みプラスチックテープを１／２重ね巻１回巻きとする。 （施工手順を撮影の上、工程写真に表す。）〔　標　P-73 2.7.3　〕
15．コンクリート埋設鉛管・鋼管	プラスチックテープ（　JIS Z 1901　に準じたもの、厚さ　0.4㎜　）で１／２重ね１回巻を行う。〔　標　P-73 2.7.3　〕
16．埋設管表示テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、粘着材付表示テープを貼り付ける。 ○直結給水管（上水道本管接続部）　＜紺色＞　●給水管（水槽以降）　＜空色＞ ○揚水管（受水槽～高置水槽間）　＜茶色＞　○井水管　＜白色＞ ○消火管　＜橙色＞　○ガス管　＜緑色＞
17．埋設管標識シート	各種管上部（地表から１５０ｍｍ程度の深さ）にビニール製標識シート（巾１５０）を埋設する。（排水管は除く）〔　標　P-73 2.7.1，　監　P-270 2.7.1　〕
18．埋設標	土中埋設のガス管、給水管及び消火管の分岐曲り部に設置する埋設標は次のとおりとする。（設置箇所は図示による） ・未舗装部分は，アルミ製表示盤をコンクリート（２００φ×３００）で巻き込んだものを，ステンレス線で配管に緊結の上設置する。 ・舗装部分は，キャッツアイを専用工具を用いて設置する。
19．弁類	水槽以降の配管には　玉　型，その他は　山　型。（ＪＩＳ規格）　○水道事業者指定（　） 内面をライニングした管に使用するねじ込み式の弁等には管端防食継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。 呼び径６５以上の弁は外ネジ式とする。（水道用ソフトシール弁は除く）〔　標　P-39 2.2.1　〕 呼び径５０以下の揚水ポンプ付属逆止弁はバイパス弁付きでもよい。 呼び径６５以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。 屋内オイルタンク及びオイルサービスタンクの最高液面以下に設ける元バルブ及びドレンバルブはＪＩＳ　Ｂ２０７１（鋳鋼１０Ｋ外ねじ仕切弁）または同等以上によるものとする。 （所轄消防署の承認するもの）〔　標　P-39 2.2.1　〕

一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX　0986-76-3489
管理建築士登録番号　NO. 145049　村岡昭宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	機械設備工事特記仕様書　－０１	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	M－０１

20 ．屋外露出の弁類	防露・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁棒はグリスアップする。
21 ．埋設弁類の防食措置	弁柄内等の直接土砂に接触しない個所に弁類を設置する場合には，防食措置は原則不要とする。 ただし，水道事業者の指定工法がある場合および，鋼管ねじ部分については防食を行うこと。
22 ．機器の防振措置	振動を発生する機器については，ダブルナットで固定し，かつ防振措置を施すこと。 （特記無き場合は防振吊り金具，防振バットとする。）
23 ．可撓継手	ステンレス製 水用 管径 ２５以下 ／ ３２～５０ ／ ６５～１５０ ／ ２００以上 ステンレス製 水用 全長mm ３００以上 ／ ５００以上 ／ ７５０以上 ／ １，０００以上 ステンレス製 油用 管径 ２０ 以下 ／ ２５ ～ ４０ ／ ５０ ～ １００ ステンレス製 油用 全長mm ３００以上 ／ ５００以上 ／ ７００以上 合成ゴム製（水用） 管径 ４０ 以下 ／ ５０ ～ ８０ ／ １００以上 合成ゴム製（水用） 全長mm ３００以上 ／ ５００以上 ／ ７００以上 （油用で管径４０以上は消防法令適合品とする） （鋼製フランジ付） 〔 標 P-44 2.2.8 〕
24 ．防振継手	鋼製フランジ付 〔 標 P-44 2.2.7 〕
25 ．既製コンクリート桝	厚さ１００mmとする。
26 ．サービスタンクの油面計	○ゲージ式（側圧式） ○ガラス管式（流出防止形） 〔 標 P-51 2.3.4 〕
27 ．標識その他	機器類・弁類・保守工具及び配管等には適宜その名称、内容及び矢印等を記入、もしくはプラスチック製札に刻印したものを指示により取り付ける。必要に応じ消防法，ガス事業法，液石法などによる標識（危険物・火気厳禁他）を設置する。（文字シール貼り付けは不可）〔 標 P-18 1.7.4 〕 （例）・弁類に取り付ける場合は，小判型樹脂製札をＳＵＳ針金またはインシロックで取り付け。 彫り込み文字は 表面：「○○系統」 裏面：「○○Ａ（口径 ）」 ・桝蓋の裏に取り付けの場合は，表面に「○○系統 ○○Ａ（口径）」彫込み，接着剤にて取付け。 ・常時開，閉等の注意書きは，用途に応じて追記のこと。

② 衛生器具工事 〔 標 P-239 1.1.1 ～ P-244 1.1.16 〕

1．和風大便器	躯体との緩衝材付、鉛管接続の場合は吊り金物を使用する。和便器と前壁との離隔は，２５０mm程度を確保する．和風大便器用フラッシュバルブ壁面取り付けの場合は F.L.+800m 程度とする。〔 標 P-279 2.1.2, 図 P-158 〕
2．大便器用洗浄弁	○バキュームブレーカー付フラッシュバルブ（ノンホルディング機構付） 〔 標 P-243 1.1.10 〕 ○ロータンク（防露型）洗浄管固定。 ○自動洗浄 〔 標 P-279 2.1.2, 監 P-661 1.1.10 〕
3．小便器洗浄方式	○フラッシュバルブ ○ハイタンク ○水栓 ○自動洗浄 〔 標 P-239 1.1.2, 標 P-279 2.1.2, 監 P-661 1.1.10 〕
4．標示板	○ 陶器製 ○ 不要 （器具付属の説明シール等は最寄りに貼り付けのこと。）
5．汚物入	プラスチック製とし、大便器１組に１個とする。ＹＢＣ２１同等品以上とする。
6．紙巻器	ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 ○ シングル ○ 棚付二連 〔 標 P-240 〕
7．水栓類	原則としてＪＩＳ規格、ＪＷＷＡ規格（日水協）適合品とし節水こまとする。シングルレバーは上げ吐水方式。〔 標 P-243 1.1.9, 監 P-659 1.1.9, 図 P-64 〕
8．シールテープの除去	水栓類と配管を接合した後の，見えがかり部分の余分なシールテープは，カッター等を使用し丁寧に除去すること。
9．化粧鏡の裏板補強	化粧鏡を壁に取り付けた際の隙間には，鏡の割れを防止するため補強材を設けること。 （厚さ４ mm 程度，ゴムシート等）
10 ．水栓柱	ＶＢ仕様 ●９００ｈ ○１，２００ｈ 必要に応じコンクリート根巻き，または壁にバンドにて固定する。
11 ．器具廻りのコーキング	陶器類，洗濯機パン等については，原則として器具廻りをコーキング処理すること。
12 ．洗面化粧台の照明器具	洗面化粧台に付属の照明器具については，周波数切り替えスイッチを６０ Hz にあわせること。

③ 屋内給水工事

1．給水方式	引込み付近水圧（ 4.0 ）MPa ○水道直結方式 ○重力（高置水槽）方式 ●加圧送水方式 ○直結増圧方式
2．水槽類	○ＦＲＰ製 ●ステンレス製（○一体型 ○組立型 ○単板構造 ○保温構造） タンク本体は，地震力及び地震力によって生ずるスロッシングによって損傷を起こさないような強度を有するものとする。 ２m以上は内外はしご付。 マンホールは内蓋及び南京錠付。 〔 標 P-253 1.4.1, 標 P-283 2.2.4 〕
3．ポンプ付属品	フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 〔 標 P-244 〕
4．ポンプ電動機	屋外：全閉防まつ形、屋内：（多湿箇所）全閉防まつ形、（その他）防滴保護形〔 標 P-22 1.2.1 〕
5．ボールタップフロート	○銅板製 ○耐食性のある樹脂等 ○ステンレス製 〔 標 P-46 2.2.17 〕

④ 屋外給水工事

1．継手材	管端防食継手としネジ部にコンパウンド、継手受口の隙間に専用テープを使用すること。 （ゴムリング方式は不可）〔 標 P-35 〕
2．量水器	親メーター（●貸与 ○買取り） 子メーター（○貸与 ○買取り） ○集中検針盤 水道事業者の指定がない限り，乾式直読型とする。 〔 標 P-46 2.2.14 〕
3．量水器桝	呼び径３２までMC－１（４３０×３１０×５５０HフタMB－１）、呼び径４０～６５までMC－２（７１０×５１０×７５０HフタMB－２小窓付）とする。呼び径８０からはMC－３（１１００×７１０×７５０HフタMB－３小窓付）とする。 〔 標 P-277 1.8.4, 図 P-88 〕
4．仕切弁桝	呼び径２５までＶＣ－Ｐ，呼び径４０までＶＣ－１（１８０×１８０フタＢ１），呼び径５０～８０までＶＣ－３（３００×３００フタMHA－Ｐ３００）とする。 呼び径１００からはＶＣ－５（４５０×４５０フタMHA－Ｐ４５０）とする。 〔 標 P-277 1.8.2, 図 P-87 〕
5．弁桝，量水器の固定	舗装部分以外に設置する弁桝，量水器桝については，コンクリート巻きにて固定のこと。 桝と蓋とは鎖でつなぐこと（鎖は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製）
6．伸縮ジョイント	鋼管とビニル管の接続箇所には，エラス（又はフリー）ジョイントを使用する。

⑤ 屋内排水工事 〔 標 P-37 ～ P-38 標 P-56 2.4.8 〕

1．洗面器等の排水管	洗面器および手洗器に直結する排水立管寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする。
2．床上掃除口直下の曲管	汚水系統に取り付ける床上掃除口直下の曲管は９０°長曲管とする。
3．器具との接続	原則として配管接続とする。（ジャバラ・簡易ゴム接続は不可，専用アダプター使用のこと
4．通気金物排水通気弁	通気金物 ●アルミ（耐食性） ○ビニル製 排水通気弁 ○屋内型 ○屋外型
5．排水金物	ネジ込型（掃除口、目皿は差込型とする。）原則として椀は，樹脂製とする。〔 標 P-276 1.7.1 〕

⑥ 屋外排水工事 〔 標 P-277 ～ P-278 〕〔 標 P-37 2.1.2.5 〕

1．マンホールふた	●鋳鉄製（●MHA形 ○MHB形 ○MHD形）名称入り蓋、鎖付とする。 （鎖は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製）〔 図 P-36 〕
2．汚水・雑排水桝	既製コンクリート桝使用可。深さ１．２m以上の桝には足掛金物（巾 １５０以上 防錆処理）を取り付けること。 〔 図 P-91,92 〕
3．小口径桝	塩ビ製 ○防護蓋Ｔ－８（内蓋付き） ●塩ビ蓋ミカゲ（ＳＵＳ鎖共） ○コンクリート巻（蓋呼び径＋２００）角×１５０ｈ
4．掃除口コンクリート巻	３００×３００×１５０ｈで掃除口（ＣＯＡ）コンクリート巻込みとする。

7．給湯工事 〔 標 P-33 ～ P-37 標 P-251 〕

1．貯湯槽の材質	○ＳＵＳ４４４製 ○ステンレス鋼板製（電気防食装置付） ○ステンレスクラッド鋼板製（電気防食装置付） ○鋼板製 〔 標 P-259 1.4.3 〕
2．膨張水槽の保温	ロックウール２号 ５０ｔ、外装はステンレス鋼板（０．３ｔ）
3．瞬間湯沸器	耐塩処理（○要 ○不要） 配管カバー（○４５０ｈ ○ ） ○設定温度５０℃以下（ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合）

8．消火工事 〔 標 P-33 ～ P-37 標 P-261 〕

1．屋内消火栓箱	○１号 ホース掛型とする。 鋼製ｔ＝１．６mm 操作方法表示付き ○易操作性１号 日本消防検定協会の鑑定証票が貼付されたもの ○２号 〔 標 P-261 1.5.2 , 図 P-76 ～ 86 〕
2．消火栓開閉弁	４５°回転型で１．０MPａ型とする（ＪＩＳ規格）。 ○一般型 ○定圧定流量型
3．ポンプ付属品	フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 〔 標 P-250 1.2.7 図 P-166 〕
4．消火管の保温	屋内は原則保温不要。屋外は図示による。

9．ガス工事 〔 標 P-287 ～ 298 図 P-167,P-168 〕

1．種類	○都市ガス（発熱量 ＭＪ／ｍ ） ○液化石油ガス（プロパンガス）発熱量 50.2MJ ／ kg
2．ガスメータ	マイコン型 ○貸与品 〔 標 P-290 2.1.7 , P-297 3.1.3.3 〕
3．プロパン庫	○有 ○特定供給設備 ○無 ○集合装置＋転倒防止鎖（鎖はステンレス製 ）
4．接合材	ガス専用接合材を使用すること。
5．継手材	専用継手としネジ部にコンパウンド、継手受口隙間に専用テープを使用すること。器具接続以外のユニオン接続は使用しないこと。
6．絶縁継手	外部から建物内へ引き込まれる箇所の付近の露出配管部に絶縁継手を設ける。〔 標 P-293 2.2.5 〕
7．施工	有資格者の責任施工とする。使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。

10 ．浄化槽工事 〔 標 P-307 ～ 324 〕

1．型 式	建設省告示１２９２号（最終改正第１５４号）に指定する構造とする。 処理対象人員・処理水量・処理方式については，図示による。
2．マンホールふた	○MHA型 ○MHB型 ○縞鋼板（４．５ｔ） ○標準ＦＲＰ ○耐荷重ＦＲＰ ※メーカー標準を除き全てボルトロック式とする。 鋼板製のふたについてはメンテナンスを考慮し，分割を検討する。取手付〔 標 P-319 2.1.28 〕
3．金物類	支持金物、ボルトナット、その他すべてステンレス鋼製（ＳＵＳ３０４）又は，溶融亜鉛めっき仕上げ品とする。
4．ユニット型浄化槽の埋戻し	槽内に半分程度注水の後、良質土にて深さ１／３程度ずつ周囲を均等に突固め水締めを行う。 〔 標 P-323 3.2.1 〕
5．標識の掲示	浄化槽工事現場に国土交通省令で定める事項を記載した標識を掲げること。（浄化槽法第３０条）
6．浄化槽設備士の立会い	浄化槽設置に係る各工程に，浄化槽設備士が立会い確認している状況を，写真に残すこと。
7．水質検査	浄化槽使用開始後６～８ヶ月以内に施主が水質検査を行った報告書を確認の上，その写しを監督員に提出する。（浄化槽法第７条に基づく検査）

11 ，空気調和工事・換気工事・排煙工事

		外気		室内 一般系統		室内 （ ）系統	
		温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
1．設計条件	夏季	３４．２ ℃	６６．５ %	２８．０ ℃	%	℃	%
	冬季	３．２ ℃	５２．２ %	１９．０ ℃	%	℃	%

2．煤煙濃度計	電源はバーナー電源（２次）側より取出すものとして配管配線を含む。〔 標 P-113 1.1.10 〕
3．ばいじん量測定孔	○煙導の直線部に径８０φの孔 〔 標 P-113 1.1.9 〕
4．煙導	鋼板厚３．２mm以上 〔 標 P-113 1.1.9 〕
5．ダクト	風速（○低圧 ○高圧１ ○高圧２） ○アングル工法 ○コーナーボルト工法（共板・スライド） 〔 標 P-18 ～190 〕 フランジ部のダクト端折り返しは５ ㎜ 以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。 〔 標 P-198 2.2.2.3 〕 厨房、浴室などの多湿箇所の排気風道は，その継目及び継手を外面よりシール材でシールを施し、必要により水抜管を設ける。 〔 標 P-196 2.2.1, 図 P-142,143 〕 ※シール材：シリコンゴム系又はニトリルゴム系を基材としたもので、ダクト材質に悪影響を与えないものとする。 〔 標 P-182 1.14.2.6 〕
6．フレキシブルダクト	建築基準法施行令第１０８条の２の規定により、不燃材料の規定を受けたもので、十分な可撓性と耐圧強度及び耐食性を有するものとし、空調用の場合、断熱材付のものとする。 〔 標 P-184 1.14.4 , P-203 2.2.5 〕
7．ダクトテープ	ＪＩＳ Ｈ ４１６０に準ずるアルミニウム箔（厚さ０．０５mm以上）の片面に樹脂系接着剤を塗布した粘着性の高いものとする。 布製テープは不可とする。 〔 標 P-182 1.14.2.5 〕
8．風量測定口	取付箇所（○送風機に近接した部分 ○外気取入付近 ○取付を図示されたダンパー近接部分） ※取付辺３００以下は１個、３００を超え７００以下は２個、７００を超えるものは３個とする。 〔 標 P-205 2.2.7.3 〕
9．チャンバー	消音内貼を施す。 〔 標 P-205 2.2.7.1 〕 ○ＳＡ・ＲＡ ○ＯＡ・ＥＡ 〔 標 P-184 1.14.5 〕
10 ．配管材料	膨張管、空気抜管及び膨張タンクよりボイラへの給水管は、配管用炭素鋼鋼管（白管）とする。
11 ．機器類の基礎	パッケージ型空調機室外機 ○防振パット○簡易防振（ゴム被覆ばね）○専用防振架台（ばね） 防振パットは厚さ１５mmとする。〔 標 P-194 2.1 図 P-124, 施工 27 〕
12 ．吹出口及び吸込口	原則としてアルミニウム製とする。 〔 標 P-187 1.15.2 ～ 1.15.4 〕
13 ．温度計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○温水ボイラの温水入口 ○空気調和機廻りの給気風道、還気風道及び外気風道 ○冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せ（還）の各還り管 〔 標 P-186 1.14.11 〕
14 ．瞬間流量計及び流量測定口	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○瞬間流量計 ○流量測定口 ・冷凍機の冷水出口 ・ボイラ又は熱交換器の温水出口 ・冷温水管寄せの各送り管 ※測定用タッピングは３２φビトー管流量計用とする。 〔 標 P-31 2.3.7 〕
15 ．膨張水槽の保温	ロックウール保温板（２号）２５ｔを使用し、外装はステンレス鋼板０．３ｔとする。 〔 標 P-7 〕〔 標 P-81 3.14 〕
16 ．風道フランジ部の保温	フランジ部は保温材２枚重ねとする。または，フランジ高さ＋１０ ㎜ とする。〔 標 P-8 〕
17 ．換気方式	○第１種 ○第２種 ○第３種
18 ．パイプフード	○深型 ○浅型 ○ステンレス ○着脱式防虫網付き（メンテナンス可能箇所） ○ガラリ付き（メンテナンス困難な箇所）
19 ．パッケージ型空調機	屋外機カバー（○要 ○不要） 材質はナイロンターポリン０．３４ｔとする。 耐塩処理（○要 ○不要） ＪＲＡ重耐塩仕様 （日本冷凍空調工業会標準規格）（ＪＲＡ９００２－１９９１）（空調機器の耐塩害試験基準）
20 ．耐震支持	吊り長さ 600mm 以上の機器は耐震支持を取る。ただし，軽量機器は除く。

一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5 TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049 村岡昭宏

件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
図名	機械設備工事特記仕様書 －０２	縮尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	M－０２

Ⅱ．保温工事　〔　標　P-77　，監　P-265　〕

１．保温仕様	保温材，外装材及び補助材の材料仕様は，標準仕様書による。〔　標 P-77　表 2.3.1　〕 管及びダクト類の外装材は図示によるものとし，保温材は図示がない場合は以下を標準とする。 給水管，排水管，消火管，冷水管，冷温水管　：ポリスチレンフォーム保温材 給湯管，温水管，一般ダクト　：グラスウール保温材 防火区画等貫通個所，蒸気管，排煙ダクト，煙道　：ロックウール保温材

Ⅱ．各種試験，調整

１．給水設備 給湯設備	（１）給水装置に該当する管は、水道事業者の規定圧力。ただし、最小〔鋼管１．７５ＭＰａ（１７．５ｋｇｆ／ｃ㎡）、ビニール管１．０ＭＰａ（１０ｋｇｆ／ｃ㎡）〕とする。 （２）揚水管、圧送管は当該ポンプの全揚程に相当する圧力の２倍の圧力。 〔最小０．７５ＭＰａ（７．５ｋｇｆ／ｃ㎡）〕 （３）高置水槽以下の配管は、静水頭に相当する圧力の２倍の圧力。 〔最小０．７５ＭＰａ（７．５ｋｇｆ／ｃ㎡）〕〔　標　P-75 2.9.3　〕 （４）器具取付後の水圧試験　・住戸内給水管（但し、水道メーター以降とする。） 〔０．７５ＭＰａ（７．５ｋｇｆ／ｃ㎡）〕 （５）飲料水用タンク設置の場合端末において遊離残留塩素が０．２ｍｇ／Ｌ以上検出されるまで消毒を行う。（１ｍ３に付き２ｃｃ〔１０％希釈液の場合〕）〔　標　P-52 2.4.1　〕 （６）水圧試験の保持時間は最小６０分とする。
２．消火設備	消防用設備等試験結果報告書の記入にあたって行う。消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。〔　標　P-76 2.9.5　〕
３．ガス設備	（１）気密試験及び点火試験とする。 （高圧側１．５６Ｍ㎩、低圧側８．４ｋ㎩　以上１０．０ｋ㎩　以下又は供給事業者の規定試験）〔　標　P-298 3.2.6　〕 （２）点火試験は，管内の空気を除去して行う。〔　標　P-294 2.2.6　〕 （３）給湯器と接続されているガス管の気密試験については，給湯器直近のガス栓を閉めて上記 （１）の気密試験を行った後，給湯器直近のガス栓を開いて５．０ｋ㎩　以上の圧力で再度気密試験を行うこと。ただし，供給事業者の配管気密試験規定圧力が５．０ｋ㎩　以下の場合は，２回にわけて気密試験を行う必要はない。
４．浄化槽設備	槽の水張り、配管、各機器の操作試験を行う。 （満水試験　２４時間後第三者の立会い写真を工程写真に表す。）〔　標　P-321 2.2.2　〕
５．空調設備	（１）冷媒配管は配管接続完了後、「高圧ガス保安法」等に基づいたメーカー指定の方法により気密試験を行う。〔　標　P-75 2.9.2　〕 （２）各種機器調整及び風量、風速、騒音、温度、湿度の測定等。〔　標　P-234 3.3.1　〕 （３）自動制御設備の総合調整を行う。〔　標　P-234 3.3.2　〕
上記試験、調整状況の写真を撮影すること。	

衛　生　器　具　表

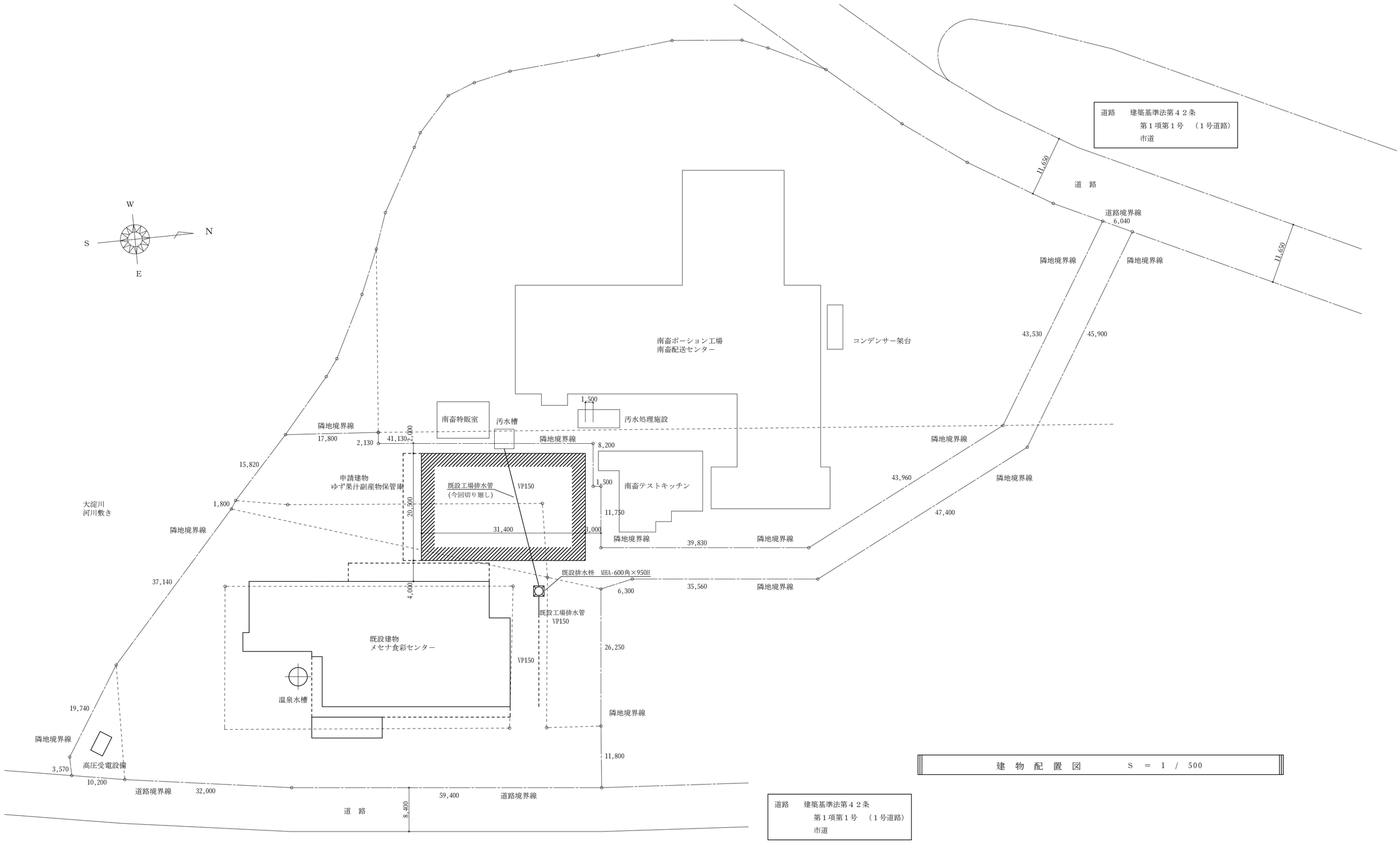
器具名称	参考型番(TOTO) (型番は参考とし同等品以上とする)	合計	プラットホーム	屋外
手洗器	L30DM,TEN40AWX,T22BP,TS126AR	1	1	
横水栓	T200SNR13	4	2	2
水栓柱	H=900(VB仕様)	4	2	2

凡　例　表

記　号	名　称	配　管　材　料
――― - ―――	給水管	水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（屋内土間）ＳＧＰ－ＶＤ
		水道用内面硬質塩化ビニルライニング鋼管（屋内一般）ＳＧＰ－ＶＢ
		耐衝撃性硬質塩化ビニル管（屋外埋設）ＨＩ－ＶＰ
―――	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管　ＶＰ
―――	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管　ＶＰ

一級建築士事務所
村岡建築設計事務所
鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX　0986-76-3489
管理建築士登録番号　NO. 145049　村岡昭宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	機械設備工事特記仕様書　－０３	縮　尺	NO SCALE
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	M－０３



建　物　配　置　図　　S ＝ 1 / 500

道路　建築基準法第４２条
第１項第１号　（１号道路）
市道

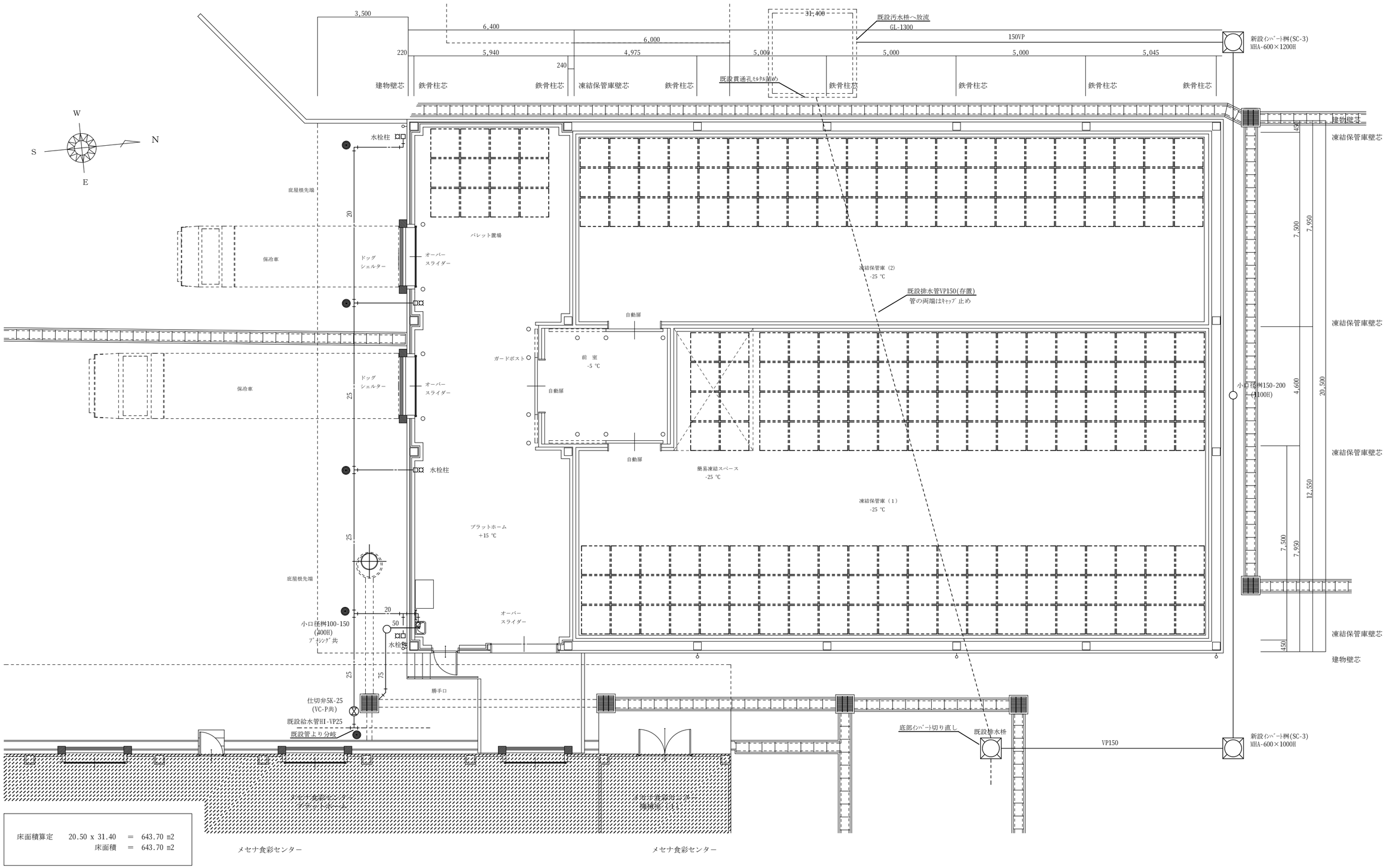
一級建築士事務所

村岡建築設計事務所

鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489

管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡昭宏

件　名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日　付	2011 － 03
図　名	機械設備工事建物配置図	縮　尺	1 ／ 500
建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録　第　1 - 23 - 24　号	図　番	M－０４



床面積算定	20.50 x 31.40	＝	643.70 ㎡
床面積		＝	643.70 ㎡

メセナ食彩センター　　メセナ食彩センター

建 物 平 面 図　　S ＝ 1 / 100

	一級建築士事務所 村岡建築設計事務所 鹿児島県曽於市末吉町二之方 800-5　TEL.FAX 0986-76-3489 管理建築士登録番号 NO. 145049　村岡 昭宏	件名	曽建24-38曽於市ゆず搾汁液貯蔵庫冷凍冷熱設備工事	日付	2011 － 03
		図名	機械設備工事建物平面図	縮尺	1 ／ 100
		建築士事務所登録番号	鹿児島県知事登録 第 1 - 23 - 24 号	図番	M－０５